

平成 2 2 年 版

事 業 概 要



財団法人 広島原爆障害対策協議会

目 次

I 財団法人広島原爆障害対策協議会(略称「広島原対協」)の概況

1 目 的	1
2 事 業	1
3 沿 革	1

II 組 織

1 広島原爆障害対策協議会の組織図	6
2 役 員・評 議 員	6
3 職 員	7

III 施 設

8

IV 平成22年度事業計画

1 被爆者の健康管理事業	9
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業	9
3 被爆者の援護福祉事業	10
4 被爆者の健康診断事業	10
5 高齢者医療確保法等による健康診査事業	11
6 広島市健康づくりセンターの管理運営事業	12
7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	13

V 予 算

1 平成22年度予算	14
2 予算の推移	15

VI 平成21年度事業実績

1 健康診断事業	
(1) 被爆者健康診断	16
ア 被爆者一般・精密検査の実施	16
イ 平成21年度被爆者一般・精密検査実施状況	17
ウ 被爆者がん検診等の実施	23
エ 平成21年度被爆者がん検診等実施状況	24
オ 原爆被爆者二世健康診断の実施	31
(2) 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等	32
ア 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等の実施	32
イ 平成21年度健康診査等実施状況	33

2	被爆者の健康管理に関する調査研究事業	
(1)	調査研究の実施	44
(2)	被爆者健康診断資料の収集整理と活用	44
(3)	文献の収集	44
(4)	第50回原子爆弾後障害研究会	44
(5)	検診結果の統計処理	44
3	被爆者の援護福祉事業	
(1)	被爆者相談	45
(2)	被爆者の援護措置	45
(3)	原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営	46
4	健康増進事業	49
5	健康教育事業	52
6	放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	54
7	平成21年研究業績	55

VII 資 料

1	年賀寄附金配分金による実施事業	59
2	日本自転車振興会補助金による実施事業	60
3	車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業	60
4	広島県補助金による実施事業	61
5	広島市補助金による実施事業	62
6	日本高等学校教職員組合等からの寄付金	63
7	全国から寄せられた寄付金	64
8	核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品	68
9	日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品	68

I 財団法人広島原爆障害対策協議会（略称「広島原対協」）の概況

1 目的

この法人は、原爆障害の研究及び治療の対策並びに原爆障害者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

2 事業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆障害者の治療の研究及び原爆被爆生存者の実態調査
- (3) 原爆被爆者の生活相談及び生活援護並びに原爆障害治療に必要な援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの管理の受託
- (5) 原爆被爆者の健康診断その他の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

3 沿革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始した。

昭和 28 年 1 月	「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立 事務局を広島市社会課内に設置
昭和 29 年 1 月	被爆者の合同診察を開始
2 月	原爆障害者の実態調査を実施
10 月	事務局を広島市民病院内に移設
昭和 30 年 5 月	原爆乙女 25 名の渡米治療に協力
昭和 31 年 4 月	「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可
9 月	原爆病院の完成とともに事務局を同院内に移設
昭和 32 年 9 月	第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞
昭和 33 年 2 月	原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始
11 月	お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定
昭和 34 年 6 月	第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 36 年 4 月	「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成
5 月	「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設
6 月	第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始
8 月	『広島原爆医療史』を発刊

昭和 38 年 10 月	「広島原爆被爆者健康管理所」を開設
11 月	第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 39 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成
9 月	オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃集団検診を開始
昭和 40 年 10 月	第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発刊
昭和 42 年 5 月	精密健康診断車(ひかり号)を購入
6 月	日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始
昭和 43 年 7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成
10 月	第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
11 月	自動分析機(オートアナライザー)を設置
昭和 44 年 2 月	日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成
3 月	テレビジョン X 線カメラを設置
8 月	勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始 続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発刊
昭和 45 年 4 月	子宮がん検診を開始
5 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成
6 月	第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 46 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成
6 月	第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催
昭和 47 年 5 月	全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置
昭和 48 年 4 月	広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成
6 月	第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業)
昭和 49 年 5 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入
7 月	広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成
12 月	肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置
昭和 50 年 4 月	勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始
6 月	第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 51 年 6 月	胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設
昭和 52 年 6 月	第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 53 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成 X 線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用 X 線装置を更新整備
8 月	勤労被爆者のため月 1 回日曜出張健診を開始
昭和 54 年 4 月	被爆者の胃検診(昭和 62 年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業)
6 月	第 20 回「原子爆弾後障害研究会」を開催

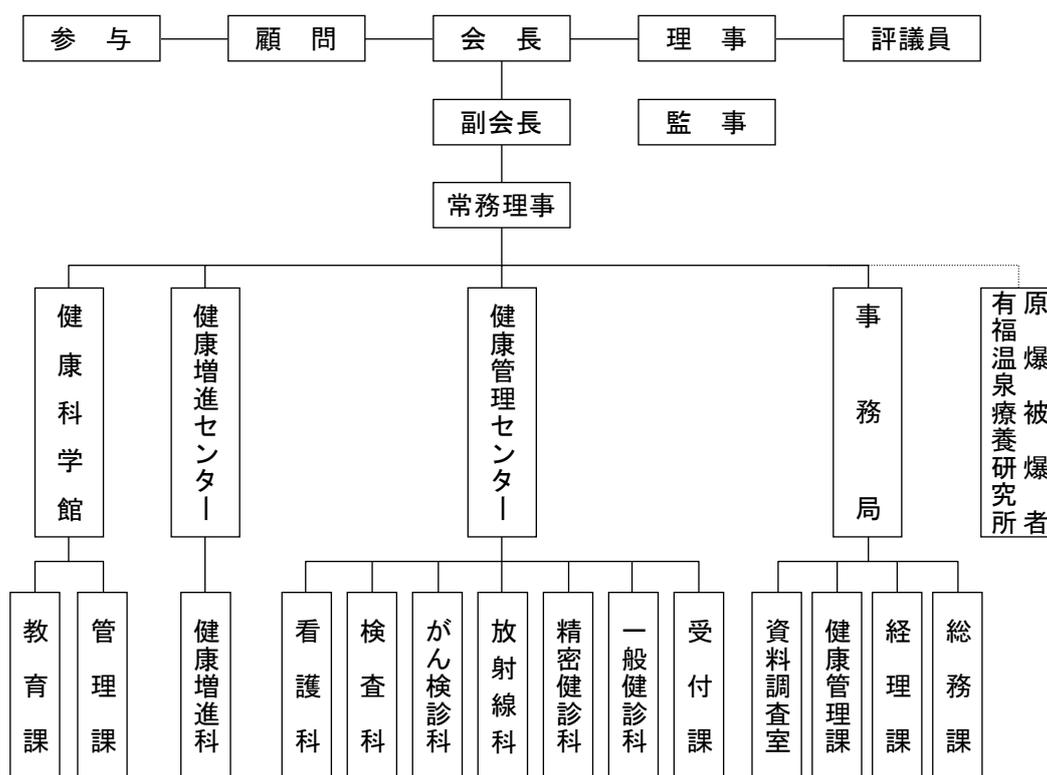
昭和 55 年 2 月	国の施策による被爆者二世健康診断を開始
8 月	自動血球分類装置(Diff-3)を設置
昭和 56 年 5 月	第 22 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」開設 20 周年記念パネル展示会を開催
10 月	広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修 その他工事完成
昭和 57 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を購入
昭和 58 年 6 月	第 24 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 59 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備
昭和 60 年 6 月	第 26 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車 庫上屋根新設工事等完成
昭和 61 年 7 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用 X 線テレビ装置更新整備
昭和 62 年 3 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用 X 線装置更新整備
4 月	被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業)
6 月	第 28 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆 者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和 63 年 8 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR 専用 X 線透視撮影台及び CR 用光 ディスク画像ファイル装置を設置
8 月	国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性 骨髄腫)を開始
平成元年 3 月	自動血球計算装置(コールターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、 光ディスク画像ファイル装置を設置
6 月	第 30 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」 の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議 会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR 専用 X 線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置
平成 2 年 4 月	老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診 断の出張健診及び老人保健法・被爆者が出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安 芸区を除く)を開始
8 月	磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置
平成 3 年 3 月	夜間健診を中止
4 月	被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業)
6 月	第 32 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	X 線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置
平成 4 年 4 月	被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始

	5月	コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備
	8月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を更新整備
	8月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成
	10月	国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始
	11月	老人保健法による大腸がん検診を開始
平成5年	4月	被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始
	6月	第34回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	8月	胃集検用X線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備
平成6年	4月	事務局組織改正。2課1室を3課2室制に改める。
	5月	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備
	9月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備
平成7年	4月	被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
	5月	原爆被爆50周年記念特別講演会を開催 第36回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	6月	内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備
	8月	CR用X線透視撮影装置を更新整備
	10月	市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
平成8年	7月	CR用X線透視撮影装置を更新整備
	8月	既設MRI装置をバージョンアップ
平成9年	4月	市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業)
	6月	第38回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	7月	X線骨密度測定装置を更新整備
	8月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成
平成10年	8月	糖尿病予防対策事業を開始 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを更新整備
	10月	C型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業)
平成11年	6月	第40回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	9月	DRシステムX線テレビ装置を整備
平成12年	9月	超音波診断装置を更新整備
平成13年	1月	MRI装置を更新整備
	6月	第42回「原子爆弾後障害研究会」を開催
平成14年	3月	デジタル超音波診断装置を更新整備
	7月	自動血球計算装置を更新整備
	8月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成
平成15年	4月	市民のC型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)にB型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業)
	6月	第44回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	7月	内視鏡検査システムを更新整備
平成16年	1月	乳房X線撮影装置を更新整備 CRX線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備
	4月	第二次CRX線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備

	8月	全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備
平成17年	6月	第46回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	8月	総合健診電算システムを更新整備
	12月	乳房X線撮影装置を整備
	12月	医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備
平成18年	3月	職業補導事業を廃止
	4月	マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始 老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施
	9月	デジタルX線透視撮影装置更新整備
	10月	被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施
	12月	全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1号車)
平成19年	1月	X線骨密度測定装置更新整備
	6月	第48回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	7月	X線CT撮影装置整備 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成
平成20年	5月	特定健康診査・特定保健指導を開始(広島市委託事業)
	8月	超音波診断装置更新整備
	11月	MRI装置のアップグレード整備
平成21年	2月	医用画像情報システム更新整備
	3月	デジタル胃集検X線透視撮影装置更新整備
	6月	第50回「原子爆弾後障害研究会」を開催
平成22年	1月	医用画像情報システムビューワー更新整備

II 組 織

1 組 織 図



2 役 員・評 議 員

財団法人広島原爆障害対策協議会 役員名簿

(平成22年7月1日現在)

役 職	氏 名	職 名
会 長	真田 幸三	広島県医師会顧問
副 会 長	碓井 静照	広島県医師会長(碓井内科胃腸科医院長・高陽ニュータウン病院理事長)
副 会 長	長崎 孝太郎	広島市医師会長(医療法人厚生堂長崎病院理事長)
常務理事	古川 義紀	医療法人社団古川医院長
常務理事	沢近 紀夫	広島市医師会代議員会議長(沢近医院長)
常務理事	志賀 賢治	広島市健康福祉局長
常務理事	木下 吾朗	広島原爆障害対策協議会事務局長
理事・参与	山中 祐介	広島市医師会副会長(医療法人神経内科山中クリニック院長)
理事・参与	臺丸 尚子	広島市健康福祉局保健部長
理事・参与	及川 享	広島市健康福祉局原爆被害対策部長
理事・参与	中村 亨	広島原爆障害対策協議会健康科学館長
理 事	佐々木 昌弘	広島県健康福祉局長
理 事	越智 光夫	広島大学病院長
理 事	神谷 研二	広島大学原爆放射線医科学研究所長
理 事	土肥 博雄	広島赤十字・原爆病院長
理 事	桑原 正雄	県立広島病院長
理 事	大庭 治	広島市民病院長

役 職	氏 名	職 名
理 事	鎌 田 七 男	広島原爆被爆者援護事業団理事長
理 事	横 山 行 男	医療法人横山胃腸科内科医院長
監 事	島 本 学	医療法人社団島本外科内科医院理事長
監 事	日 域 大 陸	医療法人三和会おうち病院長
監 事	高 崎 司 公	広島市都市整備公社監事

財団法人広島原爆障害対策協議会 評議員名簿

(平成22年7月1日現在)

氏 名	職 名
真 田 幸 三	広島県医師会顧問
碓 井 静 照	広島県医師会長(碓井内科胃腸科医院長・高陽ニュータウン病院理事長)
長崎孝太郎	広島市医師会長(医療法人厚生堂長崎病院理事長)
古 川 義 紀	医療法人社団古川医院長
沢 近 紀 夫	広島市医師会代議員会議長(沢近医院長)
志 賀 賢 治	広島市健康福祉局長
木 下 吾 朗	広島原爆障害対策協議会事務局長
越 智 光 夫	広島大学病院長
神 谷 研 二	広島大学原爆放射線医科学研究所長
土 肥 博 雄	広島赤十字・原爆病院長
桑 原 正 雄	県立広島病院長
大 庭 治	広島市民病院長
鎌 田 七 男	広島原爆被爆者援護事業団理事長
横 山 行 男	医療法人横山胃腸科内科医院長
横 山 修 三	広島県健康福祉局総務管理部長
中川日出男	日本赤十字社広島県支部事務局長
前 田 泰 則	広島県薬剤師会長
森 本 克 廣	広島市歯科医師会長

3 職 員

(平成22年7月1日現在, 単位: 人)

事 務 局		健康管理センター		健康増進センター		健康科学館			
職 種	人 員	職 種	人 員	職 種	人 員	職 種	人 員		
事 務 局 長	1	医 師	所 長	1	医 師	所 長	(1)	館 長	1
事 務 職 員	17		部 長	(1)		部 長	1	事 務 職 員	3
事 務 嘱 託	2		常 勤 医 師	5	看 護 師	1	栄 養 士 嘱 託	1	
相 談 員	1		非 常 勤 医 師	19	栄 養 士	2	看 護 師 嘱 託	1	
放 射 線 技 師	1		読 影 委 員	45	体 育 指 導 員	2	事 務 嘱 託	5	
自 動 車 運 転 手	10	看 護 師	18	事 務 職 員	1				
用 務 員	1	保 健 師	1						
		検 査 技 師	35						
		放 射 線 技 師	11						
		栄 養 士	1						
		事 務 職 員	20						
		看 護 師 嘱 託	2						
		事 務 嘱 託	4						
小 計	33	小 計	162	小 計	7	小 計	11		
		合 計		計				213	

注) () 内は兼務職員数を示したものである。

Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本会の三者協力のもとに建設されたものであり、本会は、平成元年9月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所在地 広島市中区千田町三丁目8番6号
2 敷地 9,622.67 m² (広島市 5,122.67 m²、広島市医師会 4,500.00 m²)
3 建物 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階建 延べ15,916.26 m²

利用区分	面積
健康管理センター専用	3,179.01 m ²
健康増進センター専用	253.37
事務局専用	1,000.42
健康科学館専用	2,442.13
広島市・原対協事業共用部分	2,749.61
広島市医師会専用	3,199.19
広島市・広島市医師会共用部分	3,092.53
合計	15,916.26

- 4 事業費 約90億円 (広島市約65億円、広島市医師会約25億円)

IV 平成22年度事業計画

本協議会は、国・県・市の指導と協力を得て、広島市医師会及び医師会員並びに原爆関係諸機関との密接な連携のもとに、平成22年度も引続き、被爆者の健康管理事業、被爆者の健康管理に関する調査研究事業及び被爆者の援護福祉事業を推進するほか、広島市からの委託による健康診査、がん検診等の事業を実施するとともに、指定管理者の指定を受けた健康増進事業、健康教育事業等の管理運営を行う。

1 被爆者の健康管理事業

(1) 健康管理の推進

被爆者ががん検診を積極的に推進するとともに、被爆者の高齢化に伴う諸状況を考慮し、特に次の事項に重点をおいた取組みを行う。

ア 悪性新生物の早期発見

胃がん・肺がん・肝臓がん・甲状腺がん・乳がん・子宮がん・白血病・多発性骨髄腫・大腸がん等の早期発見に努め、広島大学大学院医歯薬学総合研究科、同原爆放射線医科学研究所及び(財)放射線影響研究所等の協力を得て、積極的にこれらの検診を実施する。

イ 生活習慣病の早期発見と指導

糖尿病・動脈硬化症・高血圧・虚血性心疾患等生活習慣病の増加傾向に対し、早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行う。

(2) 健康診断医療機器等の整備

ア 全自動電気泳動装置を年賀葉書寄附金の配分を受けて更新整備する。

イ FPDデジタルX線透視撮影装置を更新整備する。

ウ 心電図データマネジメントシステムを更新整備する。

エ 超音波画像診断装置を更新整備する。

オ 糖尿病項目（血糖・HbA1c）連続測定システムを更新整備する。

(3) 被爆者健康管理資料の整備

ア 受診者に関する健診資料(カルテ・レントゲンフィルム・心電図所見等)を分類整理し、レントゲンフィルムは医用画像情報システムに、心電図はハードディスクや光ディスクへ収録して保存する。

イ これら健康診断の実績、結果等の諸統計を作成するとともに、ハードディスク、光ディスクや磁気テープとして保管し、関係諸機関の協力を得て調査研究資料の管理体制を整える。

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の継続実施

継続して下記の調査研究を行い、その成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表する。

ア 「被爆者ががん検診の意義に関する研究」

本協議会での被爆者ががん検診において新たに発見されるがん患者の著しい増加という成果を踏まえ、がん検診の意義・より効率的な検診のあり方・精度管理について、広島大学原爆放射線医科学研究所の疫学部門との協力、広島県腫瘍登録データの活用等により調査研究を行う。

イ 「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」

広島大学大学院医歯薬学総合研究科と同原爆放射線医科学研究所及び(財)放射線影響研究所との共同研究によって被曝線量の推定を行うとともに、各種のがん発生率と被曝の関連を検討する。

ウ「被爆者の糖代謝に関する研究」

被爆者における糖代謝について検討し、糖尿病発症の予防の方策を検討する。

エ「肺がんに関する研究」

被爆者について肺がんの発生状況を調査研究し、予防に資する。

オ「加齢に関する研究」

虚血性心疾患、脳血管障害、骨粗鬆症、変性性神経疾患、心理学的異常等の加齢関連疾患や病態について検討するとともに、各種の関連要因(血圧・コレステロール・喫煙・栄養状況等)や被曝状況との関連を検討する。

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集、整理保管し、その活用を図るとともに、第1回から第50回までの原子爆弾後障害研究会講演集総索引を刊行する。

(3) 原子爆弾後障害研究会の開催

6月6日、長崎原爆資料館において開催される第51回原子爆弾後障害研究会に協力する。

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談の実施

被爆者の生活、健康及び医療についての相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ必要な指導及び援助を行う。

(2) 援護の実施

「原爆被爆者援護規程」に基づいて、被爆者の福祉の増進を図る。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ア 生活困窮者に対する援護金支給 | イ 有福温泉療養者に対する交通費補助 |
| ウ 被爆身体障害者等に対する見舞金支給 | エ 福祉用具貸与・購入費利用補助 |
| オ その他必要と認める経費の一部補助 | |

(3) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

原爆被爆者有福温泉療養研究所は、同運営協議会(会長 江津市長)に運営を委託し、必要な支援を行うことにより、被爆者の福祉増進を図る。

特に、被爆者の高齢化等による利用者の減少に伴い、利用料収入での運営が困難となってきたため、引き続き所要の運営費補助を行う。

4 被爆者の健康診断事業

(1) 健康診断の実施

被爆者の高齢化が進むなか、健康管理の一層の充実を期するため、健康診断体制の整備充実に努めるとともに、実施にあたっては、関係当局と連携のうえ受診率の向上を図る。

ア 被爆者が受診しやすいようにするため、地域特性や交通機関の状況等を総合的に検討し、健診日数及び健診会場の適正化を図る。

イ 広島市健康づくりセンターでの健診がスムーズに行われるように、2か年計画で1階健診フロアのリニューアル工事を実施することとし、初年度は、主に手狭になっている婦人科検診スペースの改修を行い、婦人科検診の充実を図る。

ウ 被爆者の受診機会を多くするため、引続き土曜・日曜健診を実施し、受診サービスの向上に努める。

エ 被爆者健康診断の受診を促進するため、関係当局と連携して各種広報による啓発活動を積極的に行う。

オ 被爆者二世健康診断を実施するとともに、その受診率向上に努める。

カ 実施目標	一般検査	25,600 件	精密検査	26,800 件
	胃がん検診	5,000 件	肺がん検診	11,700 件
	子宮がん検診	2,300 件	乳がん検診	2,800 件
	多発性骨髄腫検診	17,200 件	大腸がん検診	9,800 件
	骨粗鬆症検診	5,500 件		

5 高齢者医療確保法等による健康診査事業

(1) 高齢者医療確保法に基づく健康診査等の実施

高齢者医療確保法に基づく特定健康診査を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

また、健診結果から生活習慣病のリスクに応じて階層化し、特定保健指導を実施するなど、広島市の主体的取組みに連携して、受診者のニーズに合った健診及び保健指導を行い、受診率の向上を図る。

実施目標(広島市国保)

特定健康診査	15,300 件
特定保健指導(積極的支援)	50 件

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

健康増進法に基づく種々のがん検診等を、広島市健康づくりセンター及び出張検診会場において実施し、広島市の主体的取組みに連携して、市民の健康保持に努める。

実施目標	胃がん検診	18,800 件	肺がん検診	21,900 件
	子宮がん検診	9,800 件	乳がん検診	10,100 件
	大腸がん検診	12,100 件	肝炎ウイルス検査	200 件
	骨粗鬆症検診	1,700 件		

(3) 感染症予防法に基づく結核健康診断の実施

感染症予防法に基づく結核健康診断を、広島市の主体的取組みに連携して、健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、健診による市民の健康管理の推進を図る。

実施目標	13,500 件
------	----------

(4) 介護保険法に基づく生活機能評価の実施

実施目標	被爆者	15,300 件
	被爆者以外	10,700 件

(5) 後期高齢者に対する健康診査の実施

75歳以上の後期高齢者に対する健康診査を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

実施目標 3,400件

(6) 健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料(カルテ・レントゲンフィルム・心電図等)を整理し、保管する。また、カルテ保存システムによりカルテを記録・保存し、将来の活用にも備える。

6 広島市健康づくりセンターの管理運営事業

(1) 広島市から指定管理者の指定を受けて、広島市健康づくりセンターの施設の維持管理を行う。

(2) 健康増進事業

医学的検査に加え、運動負荷テスト、体力測定、栄養調査を実施し、その結果に基づく運動指導や栄養指導を行うことにより、市民の健康の維持・増進を助長する。また、スポーツ選手のメディカルチェックを実施し、広島市スポーツ協会等と連携を図りながら、競技力向上に資する。

実施目標 基本コース 886件 (うちスポーツ選手のメディカルチェック 100件)
精密コース 1,844件

(3) 健康教育事業

市民の健康に対する関心の高まり、多様化するニーズに対応できるよう、健康に関する最新情報をわかりやすく正確に提供するとともに、積極的に教育研修等を実施し、日常における健康管理についての正しい知識の普及を図る。

ア 健康科学展示施設の運営

- (ア) 企画展開催 年 4回
- (イ) パネル展 年 12回

イ 健康ライブラリーの運営

- (ア) 図書及びビデオを利用した学習の場の提供
- (イ) インターネットによる健康情報の提供

ウ 健康に関する教育研修の実施

- (ア) 主催による研修会・イベント 年 43回
- (イ) パパママ育児スクール 年 34回
- (ウ) 他の関係機関との共催による研修会 年 28回

エ ボランティア(ヘルスサポーター)の育成・活動

- (ア) ボランティア養成講座(6課程) 年 1回
- (イ) ボランティア育成講座 年 2回
- (ウ) ボランティアの活動 年 430回

(4) ファミリー・サポート・センターの運営

会員同士の子育てに関する相互援助活動を行うことにより、仕事と子育ての両立支援や地域における子育て支援機能の充実を図る。

(5) つどいの広場の運営

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図る。

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝治療に役立てるために、「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、外国からの研修生の受け入れなど、事業の推進に協力する。

(2) 来日被曝者の健康診断・医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断及び医療相談を実施するとともに、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談にも応じるなど、引き続き在外被曝者への支援を行う。

8 その他目的達成に必要な事業

(1) 被曝者又は市民の健診の結果、悪性疾患等が疑われた場合、確定診断や病期判定のために詳細な検査（CT・MRI・内視鏡検査・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進める。

(2) 広島市医師会との協力のもと、事業所・個人からの依頼による人間ドック健診、事業所健診、生活習慣病予防健診等の健診を行うとともに、広島市医師会との連携により、医師会員からの依頼によるCT・MRI検査等の検査を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進する。

V 予 算

1 平成22年度予算

収 支 予 算 総 括 表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	一般会計	健康管理 センター 会 計	被爆者援護 福 祉 事 業 会 計	健康増進・ 教 育 事 業 会 計	内部取引 消 去	合 計
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
基本財産運用収入	1					1
特定資産運用収入	996	11,960				12,956
被爆者健康診断収入		622,880				622,880
健康増進法検診収入		290,420				290,420
特定健診・保健指導収入		117,681				117,681
介護保険法生活機能評価収入		55,730				55,730
結核住民健康診断収入		24,200				24,200
健康増進収入		10,087				10,087
受託収入				150,412		150,412
利用料収入				3,426		3,426
補助金収入		5,000				5,000
診療収入		225,600				225,600
その他健診等収入		124,445				124,445
寄附金収入	1,000					1,000
雑収入	213	1,442				1,655
他会計からの繰入金収入	336,750		20,363		△ 357,113	0
事業活動収入計	338,960	1,489,445	20,363	153,838	△ 357,113	1,645,493
2. 事業活動支出						
生活相談費支出	4,369					4,369
資料統計費支出	21,988					21,988
健康診断費支出		1,270,228				1,270,228
調査研究費支出	4,424	7,916				12,340
後障害研究会開催費支出						0
原爆被爆者対策費支出			20,363			20,363
健康増進費支出				74,856		74,856
健康教育費支出				63,682		63,682
ファミリーサポート・つどいの広場費支出				15,300		15,300
管理費支出	291,618	54,835				346,453
他会計への繰入金支出	20,363	336,750			△ 357,113	0
事業活動支出計	342,762	1,669,729	20,363	153,838	△ 357,113	1,829,579
事業活動収支差額	△ 3,802	△ 180,284	0	0	0	△ 184,086
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特定資産取崩収入	10,830	252,320				263,150
固定資産売却収入		2				2
投資活動収入計	10,830	252,322	0	0	0	263,152
2. 投資活動支出						
特定資産取得支出	1,001	5,002				6,003
固定資産取得支出	3,027	109,343				112,370
投資活動支出計	4,028	114,345	0	0	0	118,373
投資活動収支差額	6,802	137,977	0	0	0	144,779
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出						
リース債務支出		693				693
財務活動支出計	0	693	0	0	0	693
財務活動収支差額	0	△ 693	0	0	0	△ 693
IV 予備費支出	3,000	20,000				23,000
当期収支差額	0	△ 63,000	0	0	0	△ 63,000
前期繰越収支差額	0	63,000	0	0	0	63,000
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0

2 予算の推移（当初）

（単位：千円）

区分 年度	一般会計	健康管理 センター 会計	援護福祉 事業会計	健康増進・ 教育事業 会計	医療施設 機器整備 事業会計	有福祉設 施整備事 業会計	調査研究 事業会計
昭和 59	163,860	595,880	6,530	—	42,920	—	3,200
60	183,270	667,760	6,550	—	—	13,680	3,900
61	189,660	642,570	6,660	—	76,000	—	3,080
62	206,350	700,480	6,840	—	—	24,220	3,600
63	200,290	900,210	6,920	—	156,000	—	2,500
平成元	258,150	1,113,540	7,130	* 31,860	74,480	—	—
2	232,660	1,102,730	7,250	219,378	83,430	—	—
3	231,380	1,225,446	7,300	228,813	29,272	—	—
4	234,820	1,304,000	7,460	226,514	78,000	48,320	—
5	251,145	1,426,009	7,460	237,346	65,000	—	—
6	254,296	1,457,601	5,490	242,379	134,000	—	—
7	264,258	1,501,111	5,490	236,133	70,000	—	—
8	261,339	1,539,630	5,620	239,130	92,000	—	—
9	270,202	1,616,905	5,720	258,077	66,675	39,000	—
10	269,301	1,627,854	5,720	230,521	73,500	23,434	—
11	261,547	1,706,081	5,720	225,093	32,550	—	—
12	240,920	1,676,652	5,720	220,517	144,375	—	—
13	247,573	1,583,371	5,720	215,629	16,485	—	—
14	264,800	1,620,476	5,440	211,857	21,315	18,568	—
15	266,107	1,631,841	5,440	207,251	—	—	—
16	258,937	1,717,673	4,900	199,281	33,180	—	—
17	263,298	1,733,638	3,231	196,592	—	—	—
18	246,631	1,730,971	2,951	197,399	34,755	—	—
19	231,865	1,857,955	2,921	197,399	—	17,115	—
20	237,238	1,832,780	17,270	197,399	13,000	—	—
21	234,138	1,706,063	14,905	200,849	—	—	—
22	349,790	1,804,767	20,363	153,838	—	—	—

* 健康増進準備事務会計

VI 平成21年度事業実績

1 健康診断事業

(1) 被爆者健康診断

ア 被爆者一般・精密検査の実施

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。この健康診断は、広島市総合健康センター及び市内の各集会所、公民館等を会場とする出張健診会場(2カ所)の3会場で実施しており、そのために健康診断班を3班(1班約14名一医師を含む)編成している。

また、広島市総合健康センターで毎月第1・第3日曜日の日曜健診を実施しているほか、年間10回日曜出張健診も実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況 (人, %)

年度	一般検査		精密検査 実施件数(B)	精検受診率 (B)/(A)(%)	一般及び精密検査 延べ実施件数
	実施件数(A)	要精検者数			
昭和 36	20,949	—	3,818	18.2	24,767
37	57,090	—	10,730	18.8	67,820
* 38	60,005	—	10,818	18.0	70,823
39	70,672	—	14,691	20.8	85,363
40	70,634	—	14,135	20.0	84,769
* 41	75,751	—	13,648	18.0	89,399
42	78,372	23,087	15,453	19.7	93,825
43	84,459	26,056	14,595	17.3	99,054
* 44	94,427	27,894	15,352	16.3	109,779
45	89,890	36,988	26,761	29.8	116,651
46	93,001	40,868	31,771	34.2	124,772
* 47	111,119	51,433	42,300	38.1	153,419
48	101,612	48,393	38,024	37.4	139,636
49	112,068	50,713	42,871	38.3	154,939
* 50	113,852	52,996	45,437	39.9	159,289
51	109,040	51,559	44,652	41.0	153,692
52	107,000	53,453	49,959	46.7	156,959
* 53	109,531	54,948	50,785	46.4	160,316
54	104,928	61,201	58,273	55.5	163,201
55	100,788	56,415	53,404	53.0	154,192
* 56	100,289	57,168	54,360	54.2	154,649
57	94,857	57,692	55,137	58.1	149,994
58	91,003	60,524	58,999	64.8	150,002
* 59	90,495	65,715	64,863	71.7	155,358
60	91,336	68,221	67,177	73.5	158,513
61	87,533	67,361	66,511	76.0	154,044
* 62	87,372	67,439	66,659	76.3	154,031
63	82,107	63,024	62,883	76.6	144,990
平成元	76,987	59,818	60,461	78.5	137,448
* 2	73,429	58,652	59,539	81.1	132,968
3	68,285	55,675	57,705	84.5	125,990
4	63,771	53,925	55,561	87.1	119,332
* 5	60,666	56,596	58,567	96.5	119,233
6	55,979	54,270	56,860*	101.6*	112,839
7	54,275	53,702	56,145*	104.5*	110,420
* 8	52,175	52,541	54,967*	104.6*	107,142
9	49,876	49,797	51,917*	104.1*	101,793
10	47,229	47,210	49,467*	104.7*	96,696
* 11	45,168	45,156	47,154*	104.4*	92,322
12	43,121	43,114	45,019*	104.4*	88,140
13	40,614	40,607	42,191*	103.9*	82,805
14	39,269	39,268	41,440*	105.6*	80,709
15	38,432	38,432	40,607*	105.7*	79,039
16	35,588	35,584	37,198*	104.5*	72,786
17	33,997	33,995	35,996*	105.9*	69,993
18	33,086	33,084	34,603*	104.6*	67,689
19	30,639	30,637	32,659*	106.6*	63,298
20	29,043	29,040	30,319*	104.4*	59,363
21	27,417	27,412	28,924*	105.5*	56,341

* 手帳更新年度

※ 精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ当所で実施した人数を含んでいるためである。

イ 平成 21 年度被爆者一般・精密検査実施状況

平成 21 年度の一般検査の受診者数は 27,417 人、精密検査の受診者は 28,924 人であった。詳細は以下のとおりである。

(7) 一般検査

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの 1 年間の当施設及び延 480 回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表 2 a・b のとおり、男性 11,878 人、女性 15,539 人、計 27,417 人で、前年度との比較では 1,626 人の減少(男性 522 人、女性 1,074 人)である。年齢構成は、男性、女性とも 70 歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性 73.7±6.6 歳、女性 74.9±7.4 歳、全体では 74.4±7.1 歳である。健診会場別に受診者をみると、施設は 9,884 人(36.1%)、出張健診会場は 17,533 人(63.9%)であり、前年度に比し、施設健診は 327 人の減少、出張健診は 1,299 人の減少である。

出張健診の区別の受診状況は表 2 c に示すように、受診率は安芸区が 23.6%と最も高く、ついで安佐北区 17.1%、佐伯区 15.7%であり、全体では 13.3%である。

表 2 原爆 一般検査

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		%		%		%
62～69	3,948	33.2	4,657	30.0	8,605	31.4
70～79	5,427	45.7	6,218	40.0	11,645	42.5
80～104	2,503	21.1	4,664	30.0	7,167	26.1
計	11,878	100.0	15,539	100.0	27,417	100.0

b 健診会場別実施状況

(単位：日、人)

区分	平成21年度(A)		平成20年度(B)		比較増減(A)-(B)	
	日数	受診者数	日数	受診者数	日数	受診者数
施設健診	313	9,884	316	10,211	△ 3	△ 327
出張健診	480	17,533	476	18,832	4	△ 1,299
計	793	27,417	792	29,043	1	△ 1,626

c 出張健診区別実施状況

(単位：日、人、%)

区分	平成21年度(A)				平成20年度(B)				比較増減(A)-(B)		
	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数
中区	36	12,797	982	7.7	33	12,843	1,037	8.1	3	△ 46	△ 55
南区	74	19,641	2,377	12.1	74	20,363	2,530	12.4	0	△ 722	△ 153
西区	77	24,675	2,487	10.1	77	25,337	2,654	10.5	0	△ 662	△ 167
東区	59	14,363	1,982	13.8	60	14,825	2,151	14.5	△ 1	△ 462	△ 169
安芸区	29	6,266	1,479	23.6	28	6,494	1,543	23.8	1	△ 228	△ 64
安佐南区	69	23,262	3,135	13.5	70	23,994	3,368	14.0	△ 1	△ 732	△ 233
安佐北区	67	16,993	2,908	17.1	67	17,255	3,174	18.4	0	△ 262	△ 266
佐伯区	69	13,874	2,183	15.7	67	13,752	2,375	17.3	2	122	△ 192
計	480	131,871	17,533	13.3	476	134,863	18,832	14.0	4	△ 2,992	△ 1,299

(対象者数は、年間の延べ被爆者健診通知数)

d 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			%			%			%
62～69	3,948	3,946	99.95	4,657	4,656	99.98	8,605	8,602	99.97
70～79	5,427	5,427	100.00	6,218	6,216	99.97	11,645	11,643	99.98
80～104	2,503	2,503	100.00	4,664	4,664	100.00	7,167	7,167	100.00
計	11,878	11,876	99.98	15,539	15,536	99.98	27,417	27,412	99.98

(イ) 精密検査

平成 21 年度の精密検査受診者延数は表 3 a のとおり、男性 12,738 人、女性 16,186 人、計 28,924 人であり、前年度に比し男性は 379 人の減少、女性は 1,016 人の減少、全体では 1,395 人減少している。年齢別には一般検査と同様に男性、女性とも 70 歳代にピークがある。

要精検者に対する精検受診率は表 3 b に示すように、男性 107.3%、女性 104.2%、計 105.5% といずれも 100% 以上である。これは一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみを当所で実施した人数を含んでいるためである。

一般検査受診者に対する精検受診率は表 3 c に示すように、男性 107.2%、女性 104.2%、計 105.5% である。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表 3 d に示すように、肝機能検査が最も多く、ついでリウマチ検査、血糖検査、白血球分類、心電図検査、Free T4 の順である。

精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要なものを要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要なものを要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表 3 e・f である。要治療者については男女とも高血圧が最も多く、ついで男性では糖尿病、高コレステロール血症の順、女性では高コレステロール、糖尿病の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、高コレステロール血症、貧血の順に多くみられ、女性では、高血糖、血尿、高コレステロール血症の順である。

平成 21 年度に新たに発見された悪性新生物症例は表 3 g に示すとおり全体で 139 例あり、このうち最も多いのは大腸癌 38 例、ついで胃癌 25 例、多発性骨髄腫 23 例、乳癌 16 例、肺癌 13 例、甲状腺癌 7 例である。被曝状況別には表 3 h に示すように、2.0 km 以内の直接被爆者が 39 例、2.1 km 以上の直接被爆者が 41 例、入市・他が 59 例である。

表 3 原爆 精密検査

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
62～69	4,319	33.9	4,925	30.4	9,244	32.0
70～79	5,880	46.2	6,557	40.5	12,437	43.0
80～104	2,539	19.9	4,704	29.1	7,243	25.0
計	12,738	100.0	16,186	100.0	28,924	100.0

b 要精検者に対する精密検査受診率

(単位：人，%)

年齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数	
			受診率			受診率			受診率
62～69	3,946	4,319	109.5	4,656	4,925	105.8	8,602	9,244	107.5
70～79	5,427	5,880	108.3	6,216	6,557	105.5	11,643	12,437	106.8
80～104	2,503	2,539	101.4	4,664	4,704	100.9	7,167	7,243	101.1
計	11,876	12,738	107.3	15,536	16,186	104.2	27,412	28,924	105.5

c 一般検査受診者に対する精密検査受診率

(単位：人，%)

年齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	一般検査 受診者数	精検受診者数		一般検査 受診者数	精検受診者数		一般検査 受診者数	精検受診者数	
			受診率			受診率			受診率
62～69	3,948	4,319	109.4	4,657	4,925	105.8	8,605	9,244	107.4
70～79	5,427	5,880	108.3	6,218	6,557	105.5	11,645	12,437	106.8
80～104	2,503	2,539	101.4	4,664	4,704	100.9	7,167	7,243	101.1
計	11,878	12,738	107.2	15,539	16,186	104.2	27,417	28,924	105.5

d 精密検査における主な検査項目と実施件数

(単位：件)

検査項目	実施数	検査項目	実施数	検査項目	実施数
肝機能検査	28,897	尿沈査	1,881	腹部超音波検査	505
血糖検査	27,351	細胞診検査	39	心臓超音波検査	460
貧血検査	3,714	胸部レントゲン検査	2,313	甲状腺超音波検査	536
リウマチ(RF)検査	27,409	乳房撮影	411	頸動脈超音波検査	782
ブドウ糖負荷試験	1,756	骨塩定量	486	心電図	14,554
Free T3	772	MRI	337	トレッドミル検査	50
Free T4	9,059	CT	677	スパイロメリー検査	41
抗甲状腺抗体	704	胃内視鏡検査	751	CAVI	2,259
免疫グロブリン	765	大腸内視鏡検査	232	体脂肪率	1,842
白血球分類	25,862	眼底検査	2,153		

e 要治療者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
			%		%		%
感染症	その他	7	0.06	5	0.03	12	0.04
悪性新生物	胃癌	41	3.70	21	1.85	62	2.66
	肺癌	38		25		63	
	多発性骨髄腫	78		65		143	
	結腸・直腸癌	38		10		48	
	乳癌	0		46		46	
	前立腺癌	131		0		131	
	膀胱癌	25		3		28	
	甲状腺癌	13		60		73	
食道癌	10	5	15				
その他	66	53	119				
良性新生物	その他	23	0.19	27	0.17	50	0.18
内分泌・代謝疾患	糖尿病	2,060	38.42	1,428	42.14	3,488	40.53
	甲状腺腫	14		48		62	
	甲状腺機能低下症	136		427		563	
	甲状腺機能亢進症	12		39		51	
	高コレステロール血症	1,399		3,719		5,118	
	高脂血症	171		113		284	
	痛風	543		90		633	
	その他	228		683		911	
血液疾患	貧血	301	2.96	395	2.95	696	2.95
	その他	50		64		114	
精神障害・神経感覚器疾患	パーキンソン病	25	2.00	15	1.62	40	1.78
	白内障	124		142		266	
	その他	88		95		183	
循環器疾患	高血圧	4,841	51.38	5,905	44.60	10,746	47.54
	高血圧性心疾患	8		3		11	
	虚血性心疾患	592		446		1,038	
	その他の心疾患	464		443		907	
	脳血管障害	137		98		235	
	その他の循環器疾患	60		34		94	
呼吸器疾患	肺炎	4	1.84	5	1.01	9	1.37
	慢性気管支炎	16		6		22	
	喘息	77		108		185	
	肺気腫	74		5		79	
	肺線維症	5		4		9	
	その他	42		29		71	
消化器疾患	胃潰瘍	31	8.40	16	4.98	47	6.46
	十二指腸潰瘍	8		1		9	
	肝機能障害	894		696		1,590	
	その他	65		60		125	
泌尿・生殖器疾患	腎不全	404	14.88	215	2.79	619	8.03
	腎機能低下症	89		34		123	
	腎臓病	35		32		67	
	尿路感染症	5		18		23	
	その他	1,234		135		1,369	
皮膚・筋骨格系疾患	リウマチ様関節炎	144	2.88	249	8.95	393	6.32
	骨粗鬆症	133		1,042		1,175	
	その他	65		99		164	
その他	その他	494	4.16	548	3.53	1,042	3.80
総被検者数		11,876		15,536		27,412	

f 要経過観察者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
			%		%		%
感 染 症	陳 旧 性 肺 結 核	7	0.08	1	0.04	8	0.05
	そ の 他	2		5		7	
新 生 物	多 発 性 骨 髄 腫	3	1.51	3	1.07	6	1.26
	そ の 他 の 悪 性 新 生 物	19		13		32	
	胃 ポ リ ー プ	62		52		114	
	そ の 他 の 良 性 新 生 物	95		99		194	
内 分 泌 ・ 代 謝 疾 患	耐 糖 能 低 下	555	29.56	379	29.14	934	29.32
	甲 状 腺 腫	66		156		222	
	そ の 他 の 内 分 泌 疾 患	117		202		319	
	高 コ レ ス テ ロ ー ル 血 症	1,600		2,824		4,424	
	高 脂 血 症	929		814		1,743	
	そ の 他 の 代 謝 疾 患	244		152		396	
血 液 疾 患	貧 血	1,121	10.58	769	5.72	1,890	7.83
	そ の 他	135		120		255	
精 神 障 害 ・ 神 經 感 覚 器 疾 患	精 神 障 害 神 經 感 覚 器 疾 患	3	0.03	2	0.01	5	0.02
循 環 器 疾 患	高 血 圧	351	8.44	327	5.77	678	6.93
	高 血 圧 性 心 疾 患	1		2		3	
	虚 血 性 心 疾 患	11		9		20	
	そ の 他 の 心 疾 患	246		252		498	
	脳 血 管 障 害	56		43		99	
	そ の 他 の 循 環 器 疾 患	337		264		601	
呼 吸 器 疾 患	喘 息	2	2.09	0	1.23	2	1.60
	肺 氣 腫	54		6		60	
	肺 線 維 症	13		2		15	
	そ の 他	179		183		362	
消 化 器 疾 患	胃 炎	221	10.97	128	5.38	349	7.80
	肝 機 能 障 害	896		575		1,471	
	そ の 他	186		133		319	
泌 尿 ・ 生 殖 器 疾 患	腎 炎	192	8.15	88	6.57	280	7.25
	そ の 他	776		932		1,708	
皮 膚 ・ 筋 骨 格 系 疾 患	皮 膚 疾 患	2	3.60	1	6.46	3	5.22
	リウマチ様関節炎	110		143		253	
	骨 粗 鬆 症	300		844		1,144	
	そ の 他 の 骨 関 節 疾 患	16		16		32	
そ の 他	血 尿	1,074	83.39	3,463	86.77	4,537	85.31
	蛋 白 尿	646		467		1,113	
	高 血 糖	3,530		3,644		7,174	
	尿 糖	119		29		148	
	そ の 他	4,534		5,878		10,412	
総被検者数		11,876		15,536		27,412	

g 当センターで発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	被爆状況	病名
1	63	M	3.5km	胃癌（早期）
2	65	M	1.8km	胃癌（早期）
3	65	M	1.8km	胃癌（早期）
4	73	M	2.5km	胃癌（早期）
5	86	M	2.5km	胃癌（早期）
6	65	M	入市	胃癌（早期）
7	81	M	入市	胃癌（早期）
8	72	M	4.1km	胃癌（早期）
9	74	M	入市	胃癌（早期）
10	77	M	1.3km	胃癌（早期）
11	80	M	4.0km	胃癌（早期）
12	65	M	入市	胃癌（早期）
13	74	M	3号	胃癌（早期）
14	79	M	2.0km	胃癌（早期）
*15	76	M	4.0km	胃癌（早期）
16	77	F	2.0km	胃癌（早期）
*17	69	M	2.3km	胃癌（進行）
18	63	M	4号	胃癌（進行）
19	68	M	2.5km	胃癌（進行）
*20	76	M	4.0km	胃癌（進行）
21	67	F	入市	胃癌（進行）
22	83	F	入市	胃癌（進行）
23	80	F	1.5km	胃癌（進行）
24	73	M	4.1km	胃癌
25	66	M	1.2km	胃癌
26	72	M	入市	食道癌
*27	69	M	2.3km	食道癌
28	74	F	入市	食道癌（進行）
29	76	M	2.0km	肺癌
30	79	M	入市	肺癌
31	76	M	3号	肺癌
32	78	M	3号	肺癌
33	73	M	1.0km	肺癌
34	84	M	2.0km	肺癌
35	81	F	1.5km	肺癌
36	79	F	0.3km	肺癌
37	80	F	入市	肺癌
38	68	F	3.0km	肺癌
39	74	F	入市	肺癌
40	79	F	2.0km	肺癌
41	77	F	3号	肺癌
42	68	M	1.2km	転移性肺癌
43	66	F	4.0km	胸腺腫
44	63	M	4号	大腸腫瘍
45	67	M	4.1km	大腸腫瘍
46	79	M	2.0km	大腸癌
47	79	M	3.1km	結腸癌
48	77	M	1.8km	大腸癌（早期）
49	72	M	入市	大腸癌（早期）
50	79	M	2.0km	大腸癌（早期）
51	80	M	3.0km	大腸癌（早期）
52	71	M	4.0km	大腸癌（早期）
53	81	M	1.5km	大腸癌（早期）
54	83	M	3号	大腸癌（早期）
55	83	F	入市	大腸癌（早期）
56	82	F	3号	大腸癌（早期）
57	67	F	1.5km	大腸癌（早期）
58	64	M	3.0km	直腸癌（早期）
59	68	F	1.0km	直腸癌（早期）
60	67	M	1.8km	大腸癌（進行）
61	75	M	入市	大腸癌（進行）
62	76	M	3号	大腸癌（進行）
63	67	M	1.7km	結腸癌（進行）
64	65	M	4.0km	直腸癌（進行）
65	83	M	入市	直腸癌（進行）
66	77	F	3号	結腸癌
67	84	F	1.7km	大腸癌（早期）
68	87	F	入市	大腸癌（早期）
69	68	F	3.0km	直腸癌（早期）
70	79	F	3号	直腸癌（早期）

No.	年齢	性別	被爆状況	病名
71	65	F	2.2km	結腸癌（早期）
72	85	F	入市	結腸癌（早期）
73	70	F	3.5km	結腸癌（早期）
74	84	F	1.2km	大腸癌（進行）
75	81	F	入市	大腸癌（進行）
76	66	F	入市	大腸癌（進行）
77	71	F	1.6km	直腸癌（進行）
78	87	F	4.1km	直腸癌（進行）
*79	63	F	4号	直腸癌（進行）
*80	63	F	4号	直腸癌（進行）
81	81	F	3.0km	結腸癌（進行）
82	76	M	3号	胆嚢癌
83	68	M	1.8km	多発性骨髄腫
84	64	M	2.5km	多発性骨髄腫
85	72	M	3.0km	多発性骨髄腫
86	67	M	入市	多発性骨髄腫
87	87	M	4.0km	多発性骨髄腫
88	66	M	1.2km	多発性骨髄腫
89	92	M	4.1km	多発性骨髄腫
90	76	M	3号	多発性骨髄腫
91	78	M	1.0km	多発性骨髄腫
92	82	M	入市	多発性骨髄腫
93	64	M	入市	多発性骨髄腫
94	78	M	3号	多発性骨髄腫
95	72	M	入市	多発性骨髄腫
96	78	F	3号	多発性骨髄腫
97	86	F	2.0km	多発性骨髄腫
98	77	F	1.5km	多発性骨髄腫
99	83	F	2.5km	多発性骨髄腫
100	82	F	2.5km	多発性骨髄腫
101	71	F	3.1km	多発性骨髄腫
102	82	F	4.1km	多発性骨髄腫
103	83	F	6.5km	多発性骨髄腫
104	63	F	4号	多発性骨髄腫
105	73	F	入市	多発性骨髄腫
106	76	F	3号	乳癌
107	77	F	1.7km	乳癌
108	88	F	2.5km	乳癌
109	69	F	3.0km	乳癌
110	65	F	入市	乳癌
111	77	F	3号	乳癌
112	65	F	1.5km	乳癌
113	73	F	入市	乳癌
114	73	F	3号	乳癌
115	73	F	入市	乳癌
116	76	F	3号	乳癌
117	89	F	1.7km	乳癌
118	67	F	1.8km	乳癌
119	78	F	1.5km	乳癌
120	67	F	1.8km	乳癌
121	89	F	1.7km	乳癌
122	64	M	4.0km	甲状腺癌
123	77	F	3号	甲状腺癌
124	75	F	4.1km	甲状腺癌
125	73	F	3号	甲状腺癌
126	68	F	2.5km	甲状腺癌
127	70	F	3号	甲状腺癌
128	76	F	入市	甲状腺癌
129	79	M	3.0km	悪性リンパ腫
130	82	M	1.5km	悪性リンパ腫
131	81	M	4.1km	MDS (RAEB-1)
132	65	M	入市	MDS (RAEB)
133	73	M	1.8km	前立腺癌
134	78	M	2.3km	前立腺癌
135	78	M	入市	前立腺癌
136	76	M	3号	前立腺癌
137	74	M	入市	膀胱癌
138	72	M	入市	膀胱癌
139	83	F	入市	膀胱癌

*[No. 15・No. 20] [No. 17・No. 27]は重複癌で同一症例

*[No. 79・No. 80]は同一症例

h 被爆状況にみた悪性新生物

性	被爆状況	肺 癌		大腸癌		胃 癌		多発性骨髄腫		その他の癌		合 計	
			%		%		%		%		%		%
男 性	2.0km以内	3	50.0	6	33.3	5	23.8	3	23.1	3	20.0	20	27.4
	2.1km以上	0	0.0	6	33.3	10	47.6	4	30.8	5	33.3	25	34.2
	入市・他	3	50.0	6	33.3	6	28.6	6	46.2	7	46.7	28	38.4
	計	6	100.0	18	100.0	21	100.0	13	100.0	15	100.0	73	100.0
女 性	2.0km以内	3	42.9	5	25.0	2	50.0	2	20.0	7	28.0	19	28.8
	2.1km以上	1	14.3	5	25.0	0	0.0	5	50.0	5	20.0	16	24.2
	入市・他	3	42.9	10	50.0	2	50.0	3	30.0	13	52.0	31	47.0
	計	7	100.0	20	100.0	4	100.0	10	100.0	25	100.0	66	100.0
計	2.0km以内	6	46.2	11	28.9	7	28.0	5	21.7	10	25.0	39	28.1
	2.1km以上	1	7.7	11	28.9	10	40.0	9	39.1	10	25.0	41	29.5
	入市・他	6	46.2	16	42.1	8	32.0	9	39.1	20	50.0	59	42.4
	計	13	100.0	38	100.0	25	100.0	23	100.0	40	100.0	139	100.0

ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診(胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫)は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和63年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律(平成7年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行)に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断2回のうち1回をがん検診として受診できることになっている。

平成2年度からは、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成4年度から安芸区、平成5年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

また、平成4年度から大腸がん検診を実施し、平成7年度からは広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

なお、平成18年度からは、乳がん検診に乳房X線検査(マンモグラフィ)が必須項目となった。

被爆者がん検診の推移は表4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表5のとおりである。

表4 被爆者がん検診の推移

検診	検診会場	施設検診	出張検診		
			中区・南区・西区・東区・佐伯区	安芸区	安佐南区 安佐北区
胃がん検診	昭和63年8月～	平成4年10月～	平成2年4月～	平成4年4月～	平成5年4月～
肺がん検診					
乳がん検診					
子宮がん検診					
多発性骨髄腫検診					
大腸がん検診	平成4年10月～	平成4年10月～			
骨粗鬆症検診	平成7年4月～				

表5 被爆者がん検診等年度別実施状況

(単位：件)

年 度	胃がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん 検 診	多発性骨髄 腫 検 診	大腸がん 検 診	骨粗鬆症 検 診
昭和 54	2,165						
55	4,388						
56	2,843						
57	4,979						
58	5,446						
59	5,079						
60	5,142						
61	5,024						
62	4,973	201					
63	5,255	6,442	961	897	40,027		
平成元	3,848	8,052	809	751	43,045		
2	6,415	10,579	2,468	2,277	40,060		
3	5,976	10,964	2,304	2,135	40,418	4,018	
4	6,702	12,107	2,736	2,466	41,521	19,535	
5	8,095	14,189	3,630	3,390	34,909	18,306	
6	7,754	15,999	3,343	3,130	37,600	16,812	
7	8,034	16,522	3,305	3,105	36,347	16,196	3,995
8	7,953	16,104	3,288	3,094	30,677	16,657	3,891
9	7,835	15,764	3,155	2,959	33,103	15,619	5,605
10	7,574	15,148	2,783	2,649	31,304	15,029	6,055
11	7,878	15,542	2,947	2,779	28,068	15,105	6,597
12	7,686	15,523	3,024	2,876	28,793	14,472	7,000
13	7,244	14,967	2,860	2,715	26,898	13,901	6,848
14	7,161	15,596	2,843	2,724	26,131	13,669	7,211
15	7,215	15,573	2,907	2,736	25,502	13,375	7,516
16	6,950	14,650	2,864	2,548	23,823	12,453	7,193
17	6,809	14,135	2,590	2,405	22,804	12,288	6,580
18	6,416	13,720	3,073	2,499	22,401	11,570	6,480
19	5,967	12,972	3,026	2,499	20,416	11,257	6,049
20	5,445	12,588	2,997	2,427	19,555	10,988	5,932
21	4,971	12,503	3,096	2,498	18,581	10,503	5,888

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診及び平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として広島市の委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降（大腸がん検診は平成 4 年度以降）は国の制度として、広島県、広島市及び島根県、大阪府、山口県、東京都の委託を受けて実施したものである。

エ 平成 21 年度被爆者がん検診等実施状況

平成 21 年度の被爆者がん検診等実施状況の詳細は以下のとおりである。

(7) 胃がん検診

胃がん検診における受診者は表 6 a のとおり、男性 2,659 人、女性 2,312 人、計 4,971 人であり、要精検率はそれぞれ 8.0%、5.4%、6.8%、精検実施率はそれぞれ 95.8%、96.0%、95.9%である。要精検率は女性に比し男性はやや高率であり、年齢別には、一定の傾向は見られなかった。精検実施者における精検結果は表 6 b に示すように、有所見率は男性 7.41%、女性 4.84%、全体では 6.22%であり、男性が女性に比し高率である。所見の内訳では、胃炎が 2.84%と最も高率で、ついで、胃ポリープ 1.85%、胃潰瘍 0.87%の順である。

今年度新たに発見された癌症例は、表 6 c に示すとおりである。胃癌症例は、男性では 15 例(0.56%)、女性は 2 例(0.09%)、計 17 例(0.34%)で、推定発見率はそれぞれ 0.59%、0.09%、0.36%で男性に高率である。被曝状況別の胃癌発見率は、近距離被曝群のほうが高い傾向にあった。また、食道癌症例は、男性 1 例(0.04%)、女性 1 例(0.04%)、計 2 例

表6 原爆 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
～69	1,156	72	6.2	70	97.2	990	41	4.1	39	95.1	2,146	113	5.3	109	96.5
70～79	1,155	105	9.1	100	95.2	926	53	5.7	51	96.2	2,081	158	7.6	151	95.6
80～94	348	37	10.6	35	94.6	396	32	8.1	31	96.9	744	69	9.3	66	95.7
計	2,659	214	8.0	205	95.8	2,312	126	5.4	121	96.0	4,971	340	6.8	326	95.9

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数		
		胃がん		食道がん		胃潰瘍		胃ポリープ		十二指腸潰瘍		胃 炎		その他				正常
		% ¹																
男 性	～69	5	0.43		0.00	12	1.04	17	1.47	3	0.26	33	2.85	9	0.78	6	64	5.54
	70～79	7	0.61	1	0.09	18	1.56	27	2.34	8	0.69	44	3.81	31	2.68	1	99	8.57
	80～89	3	0.86		0.00	5	1.44	5	1.44	4	1.15	17	4.89	11	3.16	1	34	9.77
	計	15	0.56	1	0.04	35	1.32	49	1.84	15	0.56	94	3.54	51	1.92	8	197	7.41
女 性	～69	1	0.10		0.00	4	0.40	15	1.52	0	0.00	15	1.52	8	0.81	3	36	3.64
	70～79	1	0.11	1	0.11	4	0.43	12	1.30	1	0.11	22	2.38	18	1.94	4	47	5.08
	80～92	0	0.00		0.00	0	0.00	16	4.04	1	0.25	10	2.53	9	2.27	2	29	7.32
	計	2	0.09	1	0.04	8	0.35	43	1.86	2	0.09	47	2.03	35	1.51	9	112	4.84
計	～69	6	0.28	0	0.00	16	0.75	32	1.49	3	0.14	48	2.24	17	0.79	9	100	4.66
	70～79	8	0.38	2	0.10	22	1.06	39	1.87	9	0.43	66	3.17	49	2.35	5	146	7.02
	80～92	3	0.40	0	0.00	5	0.67	21	2.82	5	0.67	27	3.63	20	2.69	3	63	8.47
	計	17	0.34	2	0.04	43	0.87	92	1.85	17	0.34	141	2.84	86	1.73	17	309	6.22

¹ 有所見率：有所見例数/受診者×100

c 被曝状況別に見た胃癌・食道癌発見率

(単位：人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃 癌 症 例			食 道 癌 症 例		
			% ¹	% ²	% ³	推定発見率 ⁴	% ³	推定発見率 ⁴				
									発見率 ³	推定発見率 ⁴	発見率 ³	推定発見率 ⁴
男 性	2.0km以内直接被爆群	576	57	9.9	55	96.5	4	0.69	0.72	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	953	73	7.7	68	93.2	6	0.63	0.68	0	0.00	0.00
	入市・他群	1,130	84	7.4	82	97.6	5	0.44	0.45	1	0.09	0.09
	計	2,659	214	8.0	205	95.8	15	0.56	0.59	1	0.04	0.04
女 性	2.0km以内直接被爆群	471	31	6.6	29	93.5	1	0.21	0.23	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	731	29	4.0	28	96.6	0	0.00	0.00	0	0.00	0.00
	入市・他群	1,110	66	5.9	64	97.0	1	0.09	0.09	1	0.09	0.09
	計	2,312	126	5.4	121	96.0	2	0.09	0.09	1	0.04	0.05
計	2.0km以内直接被爆群	1,047	88	8.4	84	95.5	5	0.48	0.50	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,684	102	6.1	96	94.1	6	0.36	0.38	0	0.00	0.00
	入市・他群	2,240	150	6.7	146	97.3	6	0.27	0.28	2	0.09	0.09
	計	4,971	340	6.8	326	95.9	17	0.34	0.36	2	0.04	0.04

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(0.04%)で、推定発見率はそれぞれ0.04%、0.05%、0.04%であった。

(1) 肺がん検診

肺がん検診の受診者は表7 aのとおり、男性5,841人、女性6,662人、計12,503人である。要精検率は男性2.6%、女性2.7%、計2.7%と女性に高く、加齢に伴って増加の傾向を認める。精検実施率は男性91.5%、女性91.2%、全体では91.3%である。精検結果は表7 bに

示すように、有所見率は男性 2.26%、女性 2.30%、計 2.28%で、女性にやや高率で、加齢に伴って増加する傾向がみられる。所見の内訳では閉塞性肺疾患 0.24%、胸膜炎 0.16%、肺線維症 0.14%である。

今年度新たに発見された肺癌症例は表 7 c に示す如くで、男性 4 例(0.07%)、女性 8 例(0.12%)、計 12 例(0.10%)で、推定発見率はそれぞれ 0.07%、0.13%、0.11%である。被曝状況別の肺癌発見率には、一定の傾向は見られない。

表 7 原爆 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
～69	2,211	52	2.4	50	96.2	2,282	41	1.8	39	95.1	4,493	93	2.1	89	95.7
70～79	2,705	68	2.5	63	92.6	2,723	78	2.9	71	91.0	5,428	146	2.7	134	91.8
80～101	925	33	3.6	27	81.8	1,657	63	3.8	56	88.9	2,582	96	3.7	83	86.5
計	5,841	153	2.6	140	91.5	6,662	182	2.7	166	91.2	12,503	335	2.7	306	91.3

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数		
		が ん		肺結核		胸膜炎		閉塞性肺疾患		肺 炎		肺線維症		その他		正常		% ¹
		% ¹																
男 性	～69	1	0.05	3	0.14	2	0.09	4	0.18	3	0.14	5	0.23	41	1.85	3	47	2.13
	70～79	3	0.11	4	0.15	7	0.26	13	0.48	2	0.07	6	0.22	43	1.59	3	60	2.22
	80～99	0	0.00	1	0.11	4	0.43	6	0.65	3	0.32	1	0.11	22	2.38	2	25	2.70
	計	4	0.07	8	0.14	13	0.22	23	0.39	8	0.14	12	0.21	106	1.81	8	132	2.26
女 性	～69	2	0.09	0	0.00	2	0.09	2	0.09	0	0.00	0	0.00	31	1.36	4	35	1.53
	70～79	1	0.04	1	0.04	2	0.07	1	0.04	0	0.00	3	0.11	70	2.57	6	65	2.39
	80～91	5	0.30	3	0.18	3	0.18	4	0.24	1	0.06	2	0.12	51	3.08	3	53	3.20
	計	8	0.12	4	0.06	7	0.11	7	0.11	1	0.02	5	0.08	152	2.28	13	153	2.30
計	～69	3	0.07	3	0.07	4	0.09	6	0.13	3	0.07	5	0.11	72	1.60	7	82	1.83
	70～79	4	0.07	5	0.09	9	0.17	14	0.26	2	0.04	9	0.17	113	2.08	9	125	2.30
	80～99	5	0.19	4	0.15	7	0.27	10	0.39	4	0.15	3	0.12	73	2.83	5	78	3.02
	計	12	0.10	12	0.10	20	0.16	30	0.24	9	0.07	17	0.14	258	2.06	21	285	2.28

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た肺癌発見率

(単位：人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺 癌 症 例		
			% ¹	% ²	% ³	推定発見率 ⁴			
男 性	2.0km以内直接被曝群	1,338	32	2.4	30	93.8	2	0.15	0.16
	2.1km以上直接被曝群	2,049	51	2.5	47	92.2	0	0.00	0.00
	入 市・他 群	2,454	70	2.9	63	90.0	2	0.08	0.09
	計	5,841	153	2.6	140	91.5	4	0.07	0.07
女 性	2.0km以内直接被曝群	1,496	45	3.0	40	88.9	2	0.13	0.15
	2.1km以上直接被曝群	2,205	53	2.4	46	86.8	3	0.14	0.16
	入 市・他 群	2,961	84	2.8	80	95.2	3	0.10	0.11
	計	6,662	182	2.7	166	91.2	8	0.12	0.13
計	2.0km以内直接被曝群	2,834	77	2.7	70	90.9	4	0.14	0.16
	2.1km以上直接被曝群	4,254	104	2.4	93	89.4	3	0.07	0.08
	入 市・他 群	5,415	154	2.8	143	92.9	5	0.09	0.10
	計	12,503	335	2.7	306	91.3	12	0.10	0.11

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(ウ) 乳がん・子宮がん検診

乳がん検診の受診者数は表 8 a のとおりで 3,096 人、子宮がん検診は 2,498 人である。要精検率は、乳がん検診が 5.1%、子宮がん検診が 0.4% である。また、精検実施率はそれぞれ 96.2%、63.6% である。

表 8 b にそれぞれの精検結果を示す。乳がん検診の有所見率は 3.23% で、高齢者ほど高い傾向を認める。所見の内訳は乳腺症が 1.23% と最も多く、ついで乳癌 0.36% の順である。子宮がん検診の有所見率は 0.16% である。

今年度新たに発見された乳癌は表 8 c に示す如く 11 例(0.36%)で、子宮癌は発見されなかった。乳癌の推定発見率は 0.37% であり、被曝状況別には、乳癌発見率は近距離被曝群のほうが高い傾向にあった。

表 8 原爆 乳がん・子宮がん

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

乳がん検診	年齢(歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮がん検診	年齢(歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% ¹	% ²	% ¹	% ²				% ¹	% ²		
	～69	1,436	65	4.5	64	98.5		～69	1,154	4	0.3	2	50.0
	70～79	1,243	69	5.6	68	98.6		70～79	1,033	5	0.5	3	60.0
	80～98	417	24	5.8	20	83.3		80～98	311	2	0.6	2	100
	計	3,096	158	5.1	152	96.2		計	2,498	11	0.4	7	63.6

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

乳がん検診	年齢(歳)	精検所見									有所見者数	
		がん		線維腺腫		乳腺症		その他		正常		
		% ¹										
	～69	4	0.28	0	0.00	14	0.97	27	1.88	20	44	3.06
	70～79	5	0.40	0	0.00	20	1.61	17	1.37	27	41	3.30
	80～93	2	0.48	0	0.00	4	0.96	9	2.16	5	15	3.60
	計	11	0.36	0	0.00	38	1.23	53	1.71	52	100	3.23

子宮がん検診	年齢(歳)	精検所見							有所見者数			
		がん		中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他			正常	
		% ¹										
	～69	0	0.00	0	0.00	2	0.17	0	0.00	0	2	0.17
	70～79	0	0.00	1	0.10	0	0.00	0	0.00	2	1	0.10
	80～85	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.32	1	1	0.32
	計	0	0.00	1	0.04	2	0.08	1	0.04	3	4	0.16

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た乳癌・子宮癌発見率

(単位：人)

乳がん検診	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳癌症例		
			% ¹	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴			
			2.0km以内直接被曝群	656	41	6.3	40	97.6	5
2.1km以上直接被曝群	1,001	51	5.1	48	94.1	2	0.20	0.21	
入市・他群	1,439	66	4.6	64	97.0	4	0.28	0.29	
計	3,096	158	5.1	152	96.2	11	0.36	0.37	

子宮がん検診	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮癌症例		
			% ¹	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴			
			2.0km以内直接被曝群	518	1	0.2	1	100.0	0
2.1km以上直接被曝群	806	3	0.4	2	66.7	0	0.00	0.00	
入市・他群	1,174	7	0.6	4	57.1	0	0.00	0.00	
計	2,498	11	0.4	7	63.6	0	0.00	0.00	

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(I) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者は 18,581 人であり、その内訳は男性 7,919 人、女性 10,662 人で、要精検率はそれぞれ 4.4%、3.1%で全体では 3.7%である(表 9 a)。また、精検実施率はそれぞれ、99.7%、99.1%、99.4%である。精検結果は表 9 b のとおりで、有所見率は男性 2.77%、女性 1.66%、計 2.13%である。その内訳で最も多くみられるのは前骨髄腫 0.76%で、ついで骨髄腫 0.61%、良性 M 蛋白血症 0.50%、マクログロブリン血症 0.26%の順である。骨髄腫症例は男性 59 例(0.75%)、女性 54 例(0.51%)、計 113 例(0.61%)である。そのうち、今年度新たに発見された症例は、表 9 c に示すように、男性 13 例(0.16%)、女性 10 例(0.09%)、計 23 例(0.12%)で、推定発見率はそれぞれ 0.16%、0.09%、0.12%である。被曝状況別の多発性骨髄腫発見率には、一定の傾向は見られない。

表 9 原爆 多発性骨髄腫検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
～69	2,768	76	2.7	75	98.7	3,364	73	2.2	71	97.3	6,132	149	2.4	146	98.0
70～79	3,630	168	4.6	168	100	4,264	142	3.3	142	100	7,894	310	3.9	310	100
80～103	1,521	103	6.8	103	100	3,034	120	4.0	119	99.2	4,555	223	4.9	222	99.6
計	7,919	347	4.4	346	99.7	10,662	335	3.1	332	99.1	18,581	682	3.7	678	99.4

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
		骨髄腫		前骨髄腫		マクログロブリン血症		良性M蛋白血症		M蛋白 (-)		
		% ¹										
男 性	～69	14	0.51	13	0.47	9	0.33	10	0.36	29	46	1.66
	70～79	27	0.74	40	1.10	14	0.39	28	0.77	59	109	3.00
	80～101	18	1.18	23	1.51	11	0.72	12	0.79	39	64	4.21
	計	59	0.75	76	0.96	34	0.43	50	0.63	127	219	2.77
女 性	～69	8	0.24	10	0.30	3	0.09	7	0.21	43	28	0.83
	70～79	26	0.61	28	0.66	5	0.12	21	0.49	62	80	1.88
	80～95	20	0.66	28	0.92	6	0.20	15	0.49	50	69	2.27
	計	54	0.51	66	0.62	14	0.13	43	0.40	155	177	1.66
計	～69	22	0.36	23	0.38	12	0.20	17	0.28	72	74	1.21
	70～79	53	0.67	68	0.86	19	0.24	49	0.62	121	189	2.39
	80～101	38	0.83	51	1.12	17	0.37	27	0.59	89	133	2.92
	計	113	0.61	142	0.76	48	0.26	93	0.50	282	396	2.13

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た多発性骨髄腫発見率

(単位：人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		骨髄腫症例数		新規骨髄腫症例 ¹		
			% ²	% ³	% ⁴	% ⁴	発見率 ⁴	推定発見率 ⁵			
男性	2.0km以内直接被曝群	1,814	88	4.9	87	98.9	10	0.55	3	0.17	0.17
	2.1km以上直接被曝群	2,767	107	3.9	107	100.0	24	0.87	4	0.14	0.14
	入市・他群	3,338	152	4.6	152	100.0	25	0.75	6	0.18	0.18
	計	7,919	347	4.4	346	99.7	59	0.75	13	0.16	0.16
女性	2.0km以内直接被曝群	2,400	81	3.4	81	100.0	12	0.50	2	0.08	0.08
	2.1km以上直接被曝群	3,582	108	3.0	108	100.0	19	0.53	5	0.14	0.14
	入市・他群	4,680	146	3.1	143	97.9	23	0.49	3	0.06	0.07
	計	10,662	335	3.1	332	99.1	54	0.51	10	0.09	0.09
計	2.0km以内直接被曝群	4,214	169	4.0	168	99.4	22	0.52	5	0.12	0.12
	2.1km以上直接被曝群	6,349	215	3.4	215	100.0	43	0.68	9	0.14	0.14
	入市・他群	8,018	298	3.7	295	99.0	48	0.60	9	0.11	0.11
	計	18,581	682	3.7	678	99.4	113	0.61	23	0.12	0.12

¹ 今年度新たに発見された癌症例数

² 要精検率：要精検者数/受診者数×100

³ 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

⁴ 発見率：症例数/受診者数×100

⁵ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(オ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表 10 a に示すとおり、男性 4,593 人、女性 5,910 人、計 10,503 人であり、要精検率はそれぞれ 7.0%、5.6%、6.2%である。精検実施率は、男性 66.9%、女性 55.1%、全体で 60.9%である。精検結果は表 10 b に示す如く、最も多いのは腺腫 0.91%、ついで非腫瘍性ポリープ 0.88%、大腸癌 0.27%の順である。

表 10 原爆 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性					女性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
～69	1,513	95	6.3	71	74.7	1,759	56	3.2	36	64.3	3,272	151	4.6	107	70.9
70～79	2,175	150	6.9	97	64.7	2,426	127	5.2	82	64.6	4,601	277	6.0	179	64.6
80～103	905	78	8.6	48	61.5	1,725	149	8.6	65	43.6	2,630	227	8.6	113	49.8
計	4,593	323	7.0	216	66.9	5,910	332	5.6	183	55.1	10,503	655	6.2	399	60.9

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精検所見								有所見者数		
		がん		腺腫		非腫瘍性ポリープ		その他		正常		
		% ¹										
男性	～69	4	0.26	24	1.59	16	1.06	10	0.66	22	49	3.24
	70～79	5	0.23	22	1.01	27	1.24	27	1.24	26	71	3.26
	80～92	4	0.44	13	1.44	14	1.55	20	2.21	8	40	4.42
	計	13	0.28	59	1.28	57	1.24	57	1.24	56	160	3.48
女性	～69	2	0.11	7	0.40	7	0.40	8	0.45	15	21	1.19
	70～79	4	0.16	17	0.70	14	0.58	26	1.07	27	55	2.27
	80～95	9	0.52	13	0.75	14	0.81	21	1.22	16	49	2.84
	計	15	0.25	37	0.63	35	0.59	55	0.93	58	125	2.12
計	～69	6	0.18	31	0.95	23	0.70	18	0.55	37	70	2.14
	70～79	9	0.20	39	0.85	41	0.89	53	1.15	53	126	2.74
	80～95	13	0.49	26	0.99	28	1.06	41	1.56	24	89	3.38
	計	28	0.27	96	0.91	92	0.88	112	1.07	114	285	2.71

¹ 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 被曝状況別に見た大腸癌発見率

(単位：人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大腸癌症例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男性	2.0km以内直接被曝群	990	81	8.2	52	64.2	3	0.30	0.47
	2.1km以上直接被曝群	1,535	98	6.4	63	64.3	5	0.33	0.51
	入市・他群	2,068	144	7.0	101	70.1	5	0.24	0.34
	計	4,593	323	7.0	216	66.9	13	0.28	0.42
女性	2.0km以内直接被曝群	1,280	80	6.3	34	42.5	4	0.31	0.74
	2.1km以上直接被曝群	1,921	103	5.4	58	56.3	3	0.16	0.28
	入市・他群	2,709	149	5.5	91	61.1	8	0.30	0.48
	計	5,910	332	5.6	183	55.1	15	0.25	0.46
計	2.0km以内直接被曝群	2,270	161	7.1	86	53.4	7	0.31	0.58
	2.1km以上直接被曝群	3,456	201	5.8	121	60.2	8	0.23	0.38
	入市・他群	4,777	293	6.1	192	65.5	13	0.27	0.42
	計	10,503	655	6.2	399	60.9	28	0.27	0.44

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

今年度新たに発見された大腸癌症例は表 10 c のとおり男性 13 例(0.28%)、女性 15 例(0.25%)、計 28 例(0.27%)であり、推定発見率はそれぞれ 0.42%、0.46%、0.44%と女性に高率である。被曝状況別の大腸癌発見率は、一定の傾向はみられない。

(カ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被曝者が増加している現状に鑑み、その要因の一つである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成 7 年 4 月より実施されている。今年度の受診者の内訳は表 11 a に示すとおりで男性 2,720 人、女性 3,168 人、計 5,888 人であり、女性における関心の高さが示されている。

骨量の「減少あり」と判定された有所見率は男性 14.6%、女性 47.1%、計 32.1%である。女性は男性に比して高率であり、高度減少者の比率は、女性では高齢になるほど高い傾向がみられた。被曝状況別にみた結果を表 11 b に示すが、男女とも被曝状況別には一定の傾向は認められない。

表 11 原爆 骨粗鬆症検診

a 受診者数および結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	受診者数	測定結果				
			減少なし	減少あり			計
				中等度	高度	% ¹	
男性	～69	1,093	941	118	34	152	13.9
	70～79	1,275	1,090	128	57	185	14.5
	80～99	352	293	43	16	59	16.8
	計	2,720	2,324	289	107	396	14.6
女性	～69	1,311	714	369	228	597	45.5
	70～79	1,352	687	358	307	665	49.2
	80～95	505	275	115	115	230	45.5
	計	3,168	1,676	842	650	1,492	47.1
計	～69	2,404	1,655	487	262	749	31.2
	70～79	2,627	1,777	486	364	850	32.4
	80～99	857	568	158	131	289	33.7
	計	5,888	4,000	1,131	757	1,888	32.1

¹ 有所見率：「減少あり」例数/受診者数×100

b 被曝状況別に見た骨密度測定結果

(単位：人)

性	被曝状況	受診者数	測定結果				
			減少なし	減少あり			計
				中等度	高度	% ¹	
男性	2.0km以内直接被爆群	689	573	85	31	116	16.8
	2.1km以上直接被爆群	987	863	94	30	124	12.6
	入市・他群	1,044	888	110	46	156	14.9
	計	2,720	2,324	289	107	396	14.6
女性	2.0km以内直接被爆群	769	423	187	159	346	45.0
	2.1km以上直接被爆群	1,044	556	276	212	488	46.7
	入市・他群	1,355	697	379	279	658	48.6
	計	3,168	1,676	842	650	1,492	47.1
計	2.0km以内直接被爆群	1,458	996	272	190	462	31.7
	2.1km以上直接被爆群	2,031	1,419	370	242	612	30.1
	入市・他群	2,399	1,585	489	325	814	33.9
	計	5,888	4,000	1,131	757	1,888	32.1

¹ 有所見率：「減少あり」例数/受診者数×100

オ 原爆被爆者二世健康診断の実施

原爆被爆者二世の健康面での不安を除く等のために、昭和48年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和54年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）、平成13年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施している。

なお、平成2年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆者二世健康診断の実施状況は表12のとおりである。

表12 原爆被爆者二世健康診断実施状況

(単位：件，%)

年度	一般検査	精密検査	精検実施率
昭和48	578	580	100.3
49	109	110	100.9
50	82	83	101.2
51	51	51	100.0
52	131	129	98.5
53	124	126	101.6
54	1,942	1,768	91.0
55	1,041	626	60.1
56	854	494	57.8
57	995	572	57.5
58	1,152	663	57.6
59	1,551	853	55.0
60	1,798	1,072	59.6
61	1,967	1,155	58.7
62	2,250	1,314	58.4
63	2,780	1,551	55.8
平成元	2,417	1,161	48.0
2	2,078	1,127	54.2
3	2,132	1,219	57.2
年度	一般検査	精密検査	精検実施率
4	2,309	1,520	65.8
5	2,508	1,610	64.2
6	2,297	1,698	73.9
7	2,391	1,936	81.0
8	2,475	2,138	86.4
9	2,867	2,309	80.5
10	2,786	2,796	100.4
11	3,201	3,202	100.0
12	3,711	3,711	100.0
13	3,762	3,762	100.0
14	2,919	2,919	100.0
15	3,150	3,150	100.0
16	2,483	2,483	100.0
17	2,678	2,678	100.0
18	2,497	2,497	100.0
19	2,477	2,477	100.0
20	2,428	2,428	100.0
21	2,565	2,565	100.0

(2) 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等

ア 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年9月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査、健康増進法に基づくがん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表1、検査項目は表2、実施状況は表3のとおりである。

表1 検診内容・検診区域の推移

検診項目	検診会場	出張検診				
		施設検診	中区・南区・西区・東区・佐伯区	安芸区	安佐南区	安佐北区
老健法基本健康診査	元. 9～20.3		2. 4～20.3		10. 4～20.3*	10. 4～20.3*◇
胃がん検診	元. 9～		2. 4～	4. 4～	5. 4～	
肺がん検診			8. 4～			
乳がん検診			2. 4～	4. 4～	5. 4～	
子宮がん検診						
大腸がん検診	4. 11～		4. 11～		10. 4～*	10. 4～*◇
結核健診	元. 9～		2. 4～			
骨粗鬆症検診	7. 10～					
マンモグラフィ検診	9. 4～17.3 ◎					
C型・B型肝炎ウイルス検査	10. 10～		10. 10～		10. 10～*	10. 10～*◇
特定健康診査・健康診査	20.5～		20.5～		20.5～*	20.5～*

「元. 9～」は、平成元年9月から検診を開始したことを示す。

* 日曜検診のみ ◇ 白木町は平成2年4月から13年3月まで。

◎ 平成17年度からは、乳がん検診に乳房X線検査（マンモグラフィ）が必須項目となった。

表2 健診種別及び検査項目(平成21年度)

種別		対象者(広島市内在住者)	検査項目
特定健康診査		40歳以上74歳未満(被爆者含む)	必須検査：身体計測・腹囲測定・血圧測定・脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査・診察
健康診査	医療保険未加入者	上記年齢者の医療保険未加入者	選択検査：貧血検査・心電図・眼底検査 (医師の判断により実施)
	後期高齢者医療被保険者	被爆者を除く原則75歳以上の者	身体計測・血圧測定・脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査・診察
がん検診	胃がん検診	40歳以上の者	胃部X線撮影
	肺がん検診		胸部X線撮影(間接)、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	40歳以上の女性、2年に1回	視診、触診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診	20歳以上の女性、2年に1回	視診、内診、細胞診(頸部、体部)
	大腸がん検診	40歳以上の者	便潜血二日法
結核健康診断		65歳以上の者	胸部X線撮影(間接)
骨粗鬆症検診		女性：20歳から5歳間隔の年齢の者 男性：40歳から5歳間隔の年齢の者	骨塩定量検査(超音波方式)
C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)	節目検診	40歳の者	HCV抗体検査+HBs抗原検査
	未受診者検診	過去に肝炎ウイルス検診の対象者であって、受診の機会を逸した者	(必要に応じてHCV抗原検査、HCV核酸同定検査を実施)

表3 実施状況

(単位：件)

年 度	基本健康診査		が ん 検 診					結核定期健康診断	骨粗鬆症検 診	マンモグラフィ検 診	C型・B型肝炎ウイルス検査
	必須検査	選択検査	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん				
平成元	418	295	75	1	73	71	-	374	-	-	-
2	14,699	9,910	9,037	757	9,065	8,619	-	22,683	-	-	-
3	15,245	12,060	8,693	483	8,749	8,537	-	22,433	-	-	-
4	15,383	12,051	9,752	392	9,161	8,940	637	22,782	-	-	-
5	15,723	12,471	14,288	401	13,436	13,026	1,692	22,948	-	-	-
6	14,996	12,205	13,556	319	12,357	12,185	1,625	22,053	-	-	-
7	15,278	13,394	13,800	262	12,338	12,165	1,793	21,608	3,585	-	-
8	12,740	12,387	12,387	14,224	10,828	10,803	3,330	16,584	1,834	-	-
9	14,589	14,514	13,579	16,589	11,616	11,280	4,701	18,726	3,685	1,901	-
10	15,308	15,297	12,914	16,472	10,263	10,163	4,821	18,108	4,140	1,745	5,847
11	16,011	16,008	13,246	16,982	10,510	10,498	5,181	19,436	3,182	1,811	9,442
12	16,303	16,302	13,786	17,579	11,174	11,346	5,761	21,187	2,184	1,949	6,303
13	16,970	16,970	14,757	18,792	11,977	12,062	6,347	20,798	2,081	2,327	283
14	18,238	18,238	15,452	20,127	12,296	12,376	7,131	21,914	2,646	2,434	1,641
15	19,352	19,352	16,448	21,258	13,381	13,181	7,854	22,747	2,972	3,224	2,358
16	19,455	19,455	15,862	20,958	13,758	13,066	8,107	22,006	2,228	4,321	2,937
17	18,481	18,481	15,662	20,378	2,961	6,297	8,229	10,314	1,912		2,577
18	19,331	19,331	16,207	21,187	8,011	8,345	8,951	11,148	2,304		2,285
19	19,645	19,645	16,865	21,284	9,266	9,355	9,524	11,630	2,486		1,488
20	特定健康診査(注)		17,062	17,496	8,686	8,976	8,978	10,400	1,589		651
	12,685										
21	14,519		17,718	20,116	11,116	10,623	10,542	12,222	1,911		435

(注) 特定健康診査は、医療保険未加入者の健康診査・後期高齢者の健康診査を含む。

イ 平成21年度健康診査実施状況

(7) 特定健康診査

平成21年度の特定健康診査の受診者数は、表4 aに示すように男性6,198人、女性8,321人、計14,519人であり、前年度に比し男性は904人、女性は930人、全体では1,834人の増加ある。これは、平成20年4月は制度変更による体制準備のため、特定健康診査を受けられなかったことが大きい。年齢別にみると、男女とも60歳代がピークである。平均年齢±標準偏差は男性67.2±10.3歳、女性66.0±9.2歳、全体では66.5±9.7歳である。区別の受診者数では、南区が最も多く、ついで西区、佐伯区の順である(表4 b)。

表4 特定健康診査

a 受診者数(被爆者3人含む)

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
39～49	534	8.6	557	6.7	1,091	7.5
50～59	549	8.9	968	11.6	1,517	10.4
60～69	2,288	36.9	3,700	44.5	5,988	41.2
70～79	2,271	36.6	2,721	32.7	4,992	34.4
80～96	556	9.0	375	4.5	931	6.4
計	6,198	100.0	8,321	100.0	14,519	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		%		%		%
中 区	905	14.6	1,352	16.2	2,257	15.5
南 区	1,063	17.2	1,447	17.4	2,510	17.3
西 区	1,046	16.9	1,450	17.4	2,496	17.2
東 区	948	15.3	1,285	15.4	2,233	15.4
安 芸 区	241	3.9	320	3.8	561	3.9
安 佐 南 区	531	8.6	651	7.8	1,182	8.1
安 佐 北 区	422	6.8	487	5.9	909	6.3
佐 伯 区	1,042	16.8	1,329	16.0	2,371	16.3
計	6,198	100.0	8,321	100.0	14,519	100.0

(イ) 胃がん検診

胃がん検診の実施状況は表 5 a に示すとおり、男性 6,949 人、女性 10,769 人、計 17,718 人であり、要精検率はそれぞれ 7.4%、4.6%、6.2%で、女性に比し男性で高率の傾向がみられる。精検実施率は男性 77.1%、女性 84.7%、計 80.8%である。

精検実施者における精検結果は表 5 b の如く、有所見率は男性 5.41%、女性 3.61%、計 4.32%であり、男性が女性に比し高率である。

所見の内訳は、胃炎が 2.51%と最も多く、ついで胃ポリープ 1.29%、胃潰瘍 0.63%の順で、がんは 0.10%である。また、男女別の所見の内訳でも胃炎が最も多く、次いで男性では胃ポリープと胃潰瘍が同数、女性では胃ポリープ、胃潰瘍の順であった。

今年度新たに発見された癌症例は表 5 c に示すとおりである。胃癌症例は、男性で 10 例 (0.14%)、女性では 4 例 (0.04%)、計 14 例 (0.08%) であり、推定発見率はそれぞれ 0.19%、0.04%、0.10%と男性に高率である。検診状況別の推定発見率は施設検診 0.09%、集団検診 0.10% である。また、食道癌症例は、3 例発見され、いずれも男性であった。食道癌の発見率は 0.02%、推定発見率も 0.02%であった。

表 5 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
40～49	581	25	4.3	21	84.0	1,709	48	2.8	37	77.1	2,290	73	3.2	58	79.5
50～59	540	41	7.6	28	68.3	1,910	87	4.6	70	80.5	2,450	128	5.2	98	76.6
60～69	2,981	223	7.5	179	80.3	4,453	204	4.6	180	88.2	7,434	427	5.7	359	84.1
70～79	2,367	188	7.9	141	75.0	2,423	143	5.9	123	86.0	4,790	331	6.9	264	79.8
80～96	480	38	7.9	28	73.7	274	15	5.5	11	73.3	754	53	7.0	39	73.6
計	6,949	515	7.4	397	77.1	10,769	497	4.6	421	84.7	17,718	1,012	5.7	818	80.8

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100² 精検実施率：精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数		
		胃がん		食道がん		胃潰瘍		胃ポリープ		十二指腸潰瘍		胃 炎		その他		正常		% ²
			% ²		% ²		% ²		% ²		% ²		% ²		% ²			
男 性	40～49	0	0.00	0	0.00	5	0.86	3	0.52	2	0.34	8	1.38	4	0.69	3	18	3.10
	50～59	0	0.00	1	0.19	8	1.48	4	0.74	3	0.56	17	3.15	5	0.93	2	26	4.81
	60～69	6	0.20	2	0.07	39	1.31	29	0.97	12	0.40	100	3.35	35	1.17	9	170	5.70
	70～79	4	0.17	0	0.00	22	0.93	34	1.44	7	0.30	85	3.59	34	1.44	6	135	5.70
	80～93	0	0.00	0	0.00	2	0.42	6	1.25	2	0.42	19	3.96	4	0.83	1	27	5.63
	計	10	0.14	3	0.04	76	1.09	76	1.09	26	0.37	229	3.30	82	1.18	21	376	5.41
女 性	40～49	1	0.06	0	0.00	1	0.06	19	1.11	0	0.00	9	0.53	6	0.35	6	31	1.81
	50～59	0	0.00	0	0.00	9	0.47	28	1.47	9	0.47	30	1.57	11	0.58	6	64	3.35
	60～69	1	0.02	0	0.00	14	0.31	66	1.48	5	0.11	102	2.29	39	0.88	15	165	3.71
	70～79	2	0.08	0	0.00	10	0.41	38	1.57	5	0.21	69	2.85	34	1.40	4	119	4.91
	80～89	0	0.00	0	0.00	2	0.73	1	0.36	0	0.00	6	2.19	5	1.82	1	10	3.65
	計	4	0.04	0	0.00	36	0.33	152	1.41	19	0.18	216	2.01	95	0.88	32	389	3.61
計	40～49	1	0.04	0	0.00	6	0.26	22	0.96	2	0.09	17	0.74	10	0.44	9	49	2.14
	50～59	0	0.00	1	0.04	17	0.69	32	1.31	12	0.49	47	1.92	16	0.65	8	90	3.67
	60～69	7	0.09	2	0.03	53	0.71	95	1.28	17	0.23	202	2.72	74	1.00	24	335	4.51
	70～79	6	0.13	0	0.00	32	0.67	72	1.50	12	0.25	154	3.22	68	1.42	10	254	5.30
	80～93	0	0.00	0	0.00	4	0.53	7	0.93	2	0.27	25	3.32	9	1.19	2	37	4.91
	計	14	0.08	3	0.02	112	0.63	228	1.29	45	0.25	445	2.51	177	1.00	53	765	4.32

¹ 有所見率：有所見例数/受診者×100

c 検診状況別に見た胃癌・食道癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃 癌 症 例				食 道 癌 症 例			
				% ¹		% ²	発見率 ³		推定発見率 ⁴		発見率 ³		推定発見率 ⁴	
							発見率 ³	推定発見率 ⁴	発見率 ³	推定発見率 ⁴				
男 性	施設検診	3,071	226	7.4	176	77.9	5	0.16	0.21	2	0.07	0.08		
	集団検診	3,878	289	7.5	221	76.5	5	0.13	0.17	1	0.03	0.03		
	計	6,949	515	7.4	397	77.1	10	0.14	0.19	3	0.04	0.06		
女 性	施設検診	4,825	226	4.7	192	85.0	1	0.02	0.02	0	0.00	0.00		
	集団検診	5,944	271	4.6	229	84.5	3	0.05	0.06	0	0.00	0.00		
	計	10,769	497	4.6	421	84.7	4	0.04	0.04	0	0.00	0.00		
計	施設検診	7,896	452	5.7	368	81.4	6	0.08	0.09	2	0.03	0.03		
	集団検診	9,822	560	5.7	450	80.4	8	0.08	0.10	1	0.01	0.01		
	計	17,718	1,012	5.7	818	80.8	14	0.08	0.10	3	0.02	0.02		

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(ウ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6 a に示すように、男性 8,153 人、女性 11,963 人、計 20,116 人で、要精検率はそれぞれ 2.9%、2.4%、2.6%、精検実施率はそれぞれ 74.7%、85.5%、80.7% である。

精検結果は表 6 b のとおりで、有所見率は男性 1.75%、女性 1.45%、計 1.58% で、所見の内訳は多かった順に、胸膜炎及び閉塞性肺疾患がそれぞれ 0.15%、肺線維症 0.11%、肺結核 0.08% である。

今年度新たに発見された肺癌症例は男性 3 例(0.04%)、女性 11 例(0.09%)、計 14 例(0.07%) であり、推定発見率は表 6 c に示すとおり 0.05%、0.11%、0.09% である。検診状況別の推定発見率は施設検診 0.07%、集団検診 0.10% という結果である。

表6 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
40～49	675	17	2.5	12	70.6	1,371	16	1.2	14	87.5	2,046	33	1.6	26	78.8
50～59	683	13	1.9	11	84.6	1,804	42	2.3	39	92.9	2,487	55	2.2	50	90.9
60～69	3,154	84	2.7	62	73.8	4,988	102	2.0	90	88.2	8,142	186	2.3	152	81.7
70～79	2,959	83	2.8	64	77.1	3,372	106	3.1	87	82.1	6,331	189	3.0	151	79.9
80～96	682	36	5.3	25	69.4	428	24	5.6	18	75.0	1,110	60	5.4	43	71.7
計	8,153	233	2.9	174	74.7	11,963	290	2.4	248	85.5	20,116	523	2.6	422	80.7

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数		
		が ん		肺結核		胸膜炎		閉塞性肺疾患		肺 炎		肺線維症		その他		正常		
		% ¹																
男 性	40～49	0	0.00	2	0.30	0	0.00	1	0.15	0	0.00	0	0.00	4	0.59	6	6	0.89
	50～59	0	0.00	0	0.00	1	0.15	1	0.15	0	0.00	0	0.00	8	1.17	3	8	1.17
	60～69	1	0.03	1	0.03	6	0.19	8	0.25	2	0.06	2	0.06	37	1.17	11	51	1.62
	70～79	1	0.03	5	0.17	7	0.24	15	0.51	1	0.03	10	0.34	33	1.12	9	55	1.86
	80～91	1	0.15	1	0.15	1	0.15	1	0.15	0	0.00	4	0.59	17	2.49	2	23	3.37
	計	3	0.04	9	0.11	15	0.18	26	0.32	3	0.04	16	0.20	99	1.21	31	143	1.75
女 性	40～49	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	5	0.36	8	6	0.44
	50～59	2	0.11	0	0.00	1	0.06	1	0.06	0	0.00	0	0.00	23	1.27	15	24	1.33
	60～69	4	0.08	4	0.08	7	0.14	1	0.02	1	0.02	1	0.02	54	1.08	26	64	1.28
	70～79	4	0.12	3	0.09	5	0.15	2	0.06	1	0.03	4	0.12	61	1.81	22	65	1.93
	80～86	0	0.00	1	0.23	2	0.47	0	0.00	0	0.00	2	0.47	10	2.34	3	15	3.50
	計	11	0.09	8	0.07	15	0.13	4	0.03	2	0.02	7	0.06	153	1.28	74	174	1.45
計	40～49	1	0.05	2	0.10	0	0.00	1	0.05	0	0.00	0	0.00	9	0.44	14	12	0.59
	50～59	2	0.08	0	0.00	2	0.08	2	0.08	0	0.00	0	0.00	31	1.25	18	32	1.29
	60～69	5	0.06	5	0.06	13	0.16	9	0.11	3	0.04	3	0.04	91	1.12	37	115	1.41
	70～79	5	0.08	8	0.13	12	0.19	17	0.27	2	0.03	14	0.22	94	1.48	31	120	1.90
	80～91	1	0.09	2	0.18	3	0.27	1	0.09	0	0.00	6	0.54	27	2.43	5	38	3.42
	計	14	0.07	17	0.08	30	0.15	30	0.15	5	0.02	23	0.11	252	1.25	105	317	1.58

¹ 有所見率：有所見例数/受診者×100

c 検診状況別に見た肺癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺 癌 症 例		
			% ¹	% ¹	% ²	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男 性	施設検診	3,847	104	2.7	82	78.8	1	0.03	0.03
	集団検診	4,306	129	3.0	92	71.3	2	0.05	0.07
	計	8,153	233	2.9	174	74.7	3	0.04	0.05
女 性	施設検診	6,501	135	2.1	114	84.4	5	0.08	0.09
	集団検診	5,462	155	2.8	134	86.5	6	0.11	0.13
	計	11,963	290	2.4	248	85.5	11	0.09	0.11
計	施設検診	10,348	239	2.3	196	82.0	6	0.06	0.07
	集団検診	9,768	284	2.9	226	79.6	8	0.08	0.10
	計	20,116	523	2.6	422	80.7	14	0.07	0.09

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(I) 乳がん検診

乳がん検診は、平成17年4月より、問診、視診及び触診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）を40歳以上の対象者に2年に1回行うこととなった。表7 aに示すように、今年度の乳がん検診の受診者数は11,116人、要精検率6.4%、精検実施率は84.7%である。

精検結果を表7 bに示す。乳がん検診全体での有所見率は3.33%で、内訳は乳腺症1.34%、線維腺腫0.51%、乳癌0.28%である。今年度新たに発見された乳癌は31例、推定発見率は0.33%である（表7 c）。検診状況別の推定発見率は施設検診0.35%、集団検診0.31%である。

表7 乳がん検診

a 受診者数, 要精検者数および精検実施者数

(単位: 人)

年齢 (歳)	乳がん検診				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹		% ²	
40～49	2,535	200	7.9	176	88.0
50～59	2,395	156	6.5	128	82.1
60～69	4,177	237	5.7	199	84.0
70～79	1,842	109	5.9	93	85.3
80～94	167	9	5.4	6	66.7
計	11,116	711	6.4	602	84.7

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位: 人)

年齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
	が ん		線維腺腫		乳腺症		その他		正常		
	% ¹										
40～49	4	0.16	19	0.75	58	2.29	62	2.45	48	128	5.05
50～59	5	0.21	8	0.33	33	1.38	28	1.17	56	72	3.01
60～69	10	0.24	24	0.57	38	0.91	48	1.15	90	109	2.61
70～79	11	0.60	6	0.33	20	1.09	21	1.14	36	57	3.09
80～85	1	0.60	0	0.00	0	0.00	3	1.80	2	4	2.40
計	31	0.28	57	0.51	149	1.34	162	1.46	232	370	3.33

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者×100

c 検診状況別に見た乳癌発見率

(単位: 人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳 癌 症 例		
		% ¹	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴			
施設検診	5,324	372	7.0	316	84.9	16	0.30	0.35
集団検診	5,792	339	5.9	286	84.4	15	0.26	0.31
計	11,116	711	6.4	602	84.7	31	0.28	0.33

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

(オ) 子宮がん検診

子宮がん検診は、20歳以上の対象者が、2年に1回受診することができる。表8 aに示すように、今年度の子宮がん検診の受診者は10,623人で、要精検率は0.9%、精検実施率は70.8%である。

精検結果を表8 bに示す。有所見率は0.50%で、軽度異型上皮0.24%、中・高度異型上皮0.12%、子宮癌0.08%である。今年度新たに発見された子宮癌は9例、推定発見率は0.12%である(表8 c)。検診状況別の推定発見率は、施設検診0.20%、集団検診0.07%である。

表8 子宮がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% ¹		% ²
20~29	483	15	3.1	10	66.7
30~39	1,783	27	1.5	23	85.2
40~49	1,861	27	1.5	17	63.0
50~59	1,644	7	0.4	4	57.1
60~69	3,255	13	0.4	9	69.2
70~79	1,459	6	0.4	4	66.7
80~94	138	1	0.7	1	100.0
計	10,623	96	0.9	68	70.8

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

年齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
	が ん		中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他		正常		
		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			
23~29	1	0.21	2	0.41	4	0.83	1	0.21	2	8	1.66
30~39	3	0.17	4	0.22	8	0.45	3	0.17	5	18	1.01
40~49	2	0.11	5	0.27	8	0.43	0	0.00	2	15	0.81
50~59	0	0.00	1	0.06	2	0.12	1	0.06	0	4	0.24
60~69	2	0.06	1	0.03	3	0.09	0	0.00	3	6	0.18
70~79	1	0.00	0	0.00	1	0.07	0	0.00	2	2	0.14
80~80	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0	0.00
計	9	0.08	13	0.12	26	0.24	5	0.05	15	53	0.50

¹ 有所見率：有所見例数/受診者×100

c 検診状況別に見た子宮癌発見率

(単位：人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮癌症例		
			% ¹		% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
施設検診	4,339	43	1.0	30	69.8	6	0.14	0.20
集団検診	6,284	53	0.8	38	71.7	3	0.05	0.07
計	10,623	96	0.9	68	70.8	9	0.08	0.12

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表9 aに示すとおり、男性4,139人、女性6,403人、計10,542人である。要精検率はそれぞれ5.5%、3.0%、4.0%で、精検実施率は68.9%、73.5%、71.0%である。

精検結果は表9 bに示す如く、有所見率は1.91%で、内訳は、腺腫0.79%、非腫瘍性ポリープ0.66%、大腸癌0.12%である。今年度新たに発見された大腸癌は13例で、推定発見率は0.17%である(表9 c)。検診状況別の推定発見率は、施設検診0.11%、集団検診0.36%という結果である。

表9 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
40～49	386	14	3.6	9	64.3	844	19	2.3	12	63.2	1,230	33	2.7	21	63.6
50～59	363	17	4.7	15	88.2	1,157	23	2.0	19	82.6	1,520	40	2.6	34	85.0
60～69	1,731	93	5.4	63	67.7	2,701	84	3.1	71	84.5	4,432	177	4.0	134	75.7
70～79	1,411	78	5.5	53	67.9	1,528	47	3.1	30	63.8	2,939	125	4.3	83	66.4
80～94	248	26	10.5	17	65.4	173	16	9.2	7	43.8	421	42	10.0	24	57.1
計	4,139	228	5.5	157	68.9	6,403	189	3.0	139	73.5	10,542	417	4.0	296	71.0

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見								有所見者数		
		が ん		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		そ の 他				正 常
		% ¹										
男 性	40～49	1	0.26	3	0.78	0	0.00	1	0.26	4	5	1.30
	50～59	2	0.55	7	1.93	1	0.28	2	0.55	5	10	2.75
	60～69	1	0.06	25	1.44	14	0.81	12	0.69	17	46	2.66
	70～79	3	0.21	11	0.78	16	1.13	15	1.06	15	38	2.69
	80～92	3	1.21	1	0.40	6	2.42	4	1.61	4	13	5.24
	計	10	0.24	47	1.14	37	0.89	34	0.82	45	112	2.71
女 性	40～49	0	0.00	3	0.36	2	0.24	1	0.12	7	5	0.59
	50～59	0	0.00	4	0.35	3	0.26	3	0.26	10	9	0.78
	60～69	2	0.07	19	0.70	19	0.70	14	0.52	25	46	1.70
	70～79	0	0.00	9	0.59	8	0.52	9	0.59	7	23	1.51
	80～88	1	0.58	1	0.58	1	0.58	4	2.31	1	6	3.47
	計	3	0.05	36	0.56	33	0.52	31	0.48	50	89	1.39
計	40～49	1	0.08	6	0.49	2	0.16	2	0.16	11	10	0.81
	50～59	2	0.13	11	0.72	4	0.26	5	0.33	15	19	1.25
	60～69	3	0.07	44	0.99	33	0.74	26	0.59	42	92	2.08
	70～79	3	0.10	20	0.68	24	0.82	24	0.82	22	61	2.08
	80～92	4	0.95	2	0.48	7	1.66	8	1.90	5	19	4.51
	計	13	0.12	83	0.79	70	0.66	65	0.62	95	201	1.91

¹ 有所見率：有所見例数/受診者×100

c 検診状況別に見た大腸癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大 腸 癌 症 例		
			% ¹	% ²	大 腸 癌 症 例				
					発見率 ³	推定発見率 ⁴			
男 性	施設検診	2,921	159	5.4	114	71.7	5	0.17	0.24
	集団検診	1,218	69	5.7	43	62.3	5	0.41	0.66
	計	4,139	228	5.5	157	68.9	10	0.24	0.35
女 性	施設検診	4,686	127	2.7	96	75.6	1	0.02	0.03
	集団検診	1,717	62	3.6	43	69.4	2	0.12	0.17
	計	6,403	189	3.0	139	73.5	3	0.05	0.06
計	施設検診	7,607	286	3.8	210	73.4	6	0.08	0.11
	集団検診	2,935	131	4.5	86	65.6	7	0.24	0.36
	計	10,542	417	4.0	296	71.0	13	0.12	0.17

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(キ) C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

平成18年度から、C型・B型肝炎ウイルス検査の対象者は40歳の方の節目検診、または輸血歴・手術歴のある者に変更された。

受診者数は表10aのように、男性157人、女性278人、計435人である。C型・B型肝炎ウイルス抗体(一次スクリーニング検査)陽性率(要精検率)は、男性0%、女性0.4%、計0.2%である。要精検者の精検受診率は男性0%、女性100%、計100%である。精検結果は表10bのとおりで、有所見率は0.23%であり、慢性肝炎が1名である。

表10 C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
40～49	36	0	0.0	0	0.00	71	0	0.0	0	0.00	107	0	0.0	0	0.00
50～59	18	0	0.0	0	0.00	55	0	0.0	0	0.00	73	0	0.0	0	0.00
60～69	75	0	0.0	0	0.00	98	1	1.0	1	100	173	1	0.6	1	100
70～79	26	0	0.0	0	0.00	48	0	0.0	0	0.00	74	0	0.0	0	0.00
80～89	2	0	0.0	0	0.00	6	0	0.0	0	0.00	8	0	0.0	0	0.00
計	157	0	0.0	0	0.00	278	1	0.4	1	100	435	1	0.2	1	100

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見											有所見者数			
		がん		急性肝炎		慢性肝炎		脂肪肝		肝硬変		その他			正常	
		% ¹														
男 性	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	70～79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	80～84	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
女 性	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	60～69	0	0.00	0	0.00	1	1.02	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1	1.02
	70～79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	80～89	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	0	0.00	0	0.00	1	0.36	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1	0.36
計	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	60～69	0	0.00	0	0.00	1	0.58	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1	0.58
	70～79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	80～89	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	0	0.00	0	0.00	1	0.23	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1	0.23

¹ 有所見率：有所見例数/受診者×100

c 検診状況別に見た肝臓発見率

(単位：人)

性	検診状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肝臓症例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男性	施設検診	88	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集団検診	69	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	計	157	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
女性	施設検診	134	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集団検診	144	1	0.7	1	100.0	0	0.00	0.00
	計	278	1	0.4	1	100.0	0	0.00	0.00
計	施設検診	222	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集団検診	213	1	0.5	1	100.0	0	0.00	0.00
	計	435	1	0.2	1	100.0	0	0.00	0.00

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率：症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(ク) 悪性新生物症例

高齢者の医療の確保に関する法律等の検診により、当センターで発見した悪性新生物症例について表 11 に示す。乳癌 34 例、大腸癌 20 例、胃癌 19 例、肺癌 11 例、子宮癌 11 例、その他 11 例である。

表 11 当センターで発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	病名	No.	年齢	性別	病名	No.	年齢	性別	病名
1	74	M	胃癌(早期)	37	68	M	大腸癌(早期)	73	70	F	乳癌
2	73	M	胃癌(早期)	38	43	M	大腸癌(早期)	74	67	F	乳癌
3	74	M	胃癌(早期)	39	76	F	大腸癌(早期)	75	72	F	乳癌
4	68	M	胃癌(早期)	40	75	F	大腸癌(早期)	76	52	F	乳癌
5	68	M	胃癌(早期)	41	62	F	大腸癌(早期)	77	58	F	乳癌
6	73	F	胃癌(早期)	42	81	M	大腸癌(進行)	78	72	F	乳癌
7	70	F	胃癌(早期)	43	86	M	大腸癌(進行)	79	62	F	乳癌
8	60	F	胃癌(早期)	44	55	F	大腸癌(進行)	80	55	F	乳癌
9	67	M	胃癌(進行)	*45	64	M	結腸癌(早期)	81	68	F	乳癌
10	62	M	胃癌(進行)	46	83	M	結腸癌(早期)	82	64	F	乳癌
*11	64	M	胃癌(進行)	47	76	M	結腸癌(早期)	83	63	F	乳癌
12	75	M	胃癌(進行)	48	72	M	結腸癌(早期)	84	50	F	乳癌
13	66	M	胃癌(進行)	49	59	M	結腸癌(進行)	85	70	F	乳癌
14	66	M	胃癌(進行)	50	49	M	直腸癌(早期)	86	70	F	乳癌
15	44	F	胃癌(進行)	51	72	M	直腸癌(早期)	87	42	F	乳癌
16	71	M	胃癌	52	68	F	直腸癌(早期)	88	47	F	乳癌
17	79	F	胃癌	53	80	F	結腸癌(進行)	89	33	F	子宮頸癌
18	47	F	胃癌	54	81	M	結腸癌(進行)	90	59	F	子宮頸癌
19	65	F	胃癌	55	56	F	乳癌	91	78	F	子宮頸癌
20	68	M	食道癌	56	60	F	乳癌	92	67	F	子宮頸癌
21	56	M	食道癌	57	71	F	乳癌	93	35	F	子宮頸癌
22	66	M	食道癌	58	60	F	乳癌	94	44	F	子宮頸癌
23	56	M	食道癌	59	46	F	乳癌	95	41	F	子宮頸癌
24	71	M	肺癌	60	78	F	乳癌	96	35	F	子宮頸癌
25	65	M	肺癌	61	73	F	乳癌	97	61	F	子宮体癌
26	74	M	肺癌	62	74	F	乳癌	98	33	F	子宮体癌
27	73	M	肺癌	63	82	F	乳癌	99	24	F	子宮体癌
28	73	M	肺癌	64	66	F	乳癌	100	60	F	甲状腺癌
29	74	M	肺癌	65	69	F	乳癌	101	61	F	甲状腺癌
30	60	M	肺癌	66	66	F	乳癌	102	63	M	前立腺癌
31	68	F	肺癌	67	77	F	乳癌	103	72	M	前立腺癌
32	71	F	肺癌	68	76	F	乳癌	104	62	M	前立腺癌
33	64	F	肺癌	69	47	F	乳癌	105	70	M	胃悪性リンパ腫
34	66	F	肺癌	70	58	F	乳癌	106	71	M	慢性骨髄性白血病
35	59	M	大腸癌(早期)	71	73	F	乳癌				
36	79	M	大腸癌(早期)	72	76	F	乳癌				

*[No. 11・No. 45]は同一症例

(ケ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために、広島市の独自の施策として平成7年10月より開始された(平成16年4月からの検診対象者は、男性では40歳以上、女性では20歳以上の5歳刻み)。

受診者の内訳は表12に示すとおりで、男性557人、女性1,354人、計1,911人であり、女性が多い。骨量の「減少あり」と判定された有所見率は、男性40.2%、女性50.0%、全体で47.1%と高率であり、骨粗鬆症と診断されている者、またその恐れがある者が多く受診しているためと考えられる。

表12 骨粗鬆症検診

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	受診者数	測 定 結 果				
			減少なし	減少あり			計
				中等度	高 度	% ¹	
男 性	40・45	41	30	8	3	11	26.8
	50・55	40	29	10	1	11	27.5
	60・65	174	107	38	29	67	38.5
	70・75	266	148	71	47	118	44.4
	80・85・90	36	19	6	11	17	47.2
	計	557	333	133	91	224	40.2
女 性	25	1	1	0	0	0	0.0
	30・35	8	6	2	0	2	25.0
	40・45	170	155	13	2	15	8.8
	50・55	220	166	36	18	54	24.5
	60・65	568	234	213	121	334	58.8
	70・75	355	112	111	132	243	68.5
	80・85	32	3	9	20	29	90.6
	計	1,354	677	384	293	677	50.0
計	25	1	1	0	0	0	0.0
	30・35	8	6	2	0	2	25.0
	40・45	211	185	21	5	26	12.3
	50・55	260	195	46	19	65	25.0
	60・65	742	341	251	150	401	54.0
	70・75	621	260	182	179	361	58.1
	80・85・90	68	22	15	31	46	67.6
	計	1,911	1,010	517	384	901	47.1

¹ 有所見率：「減少あり」例数/受診者×100

(2) 結核健康診断

結核健康診断は、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

受診者数は表13aのとおりで、男性5,714人、女性6,506人、計12,220人であり、年齢別には男性、女性とも70歳代にピークがみられる。区別の受診者数では、表13bに示すように、安佐北区が最も多く、ついで安佐南区、佐伯区の順である。要精検率は表13cのとおり男性3.1%、女性2.8%、計2.9%である。

表13 結核健診

a 受診者数 (単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		%		%		%
～39	6	0.1	0	0.0	6	0.0
40～49	0	0.0	1	0.0	1	0.0
50～59	6	0.1	21	0.3	27	0.2
60～69	2,038	35.7	2,645	40.7	4,683	38.3
70～79	2,975	52.1	3,381	52.0	6,356	52.0
80～96	689	12.1	458	7.0	1,147	9.4
計	5,714	100.0	6,506	100.0	12,220	100.0

b 区別にみた受診者数 (単位：人)

区分	男性		女性		計	
		%		%		%
中区	546	9.6	800	14.4	1,346	12.0
南区	746	13.1	0	0.0	746	6.6
西区	699	12.2	844	15.2	1,543	13.7
東区	697	12.2	761	13.7	1,458	13.0
安芸区	494	8.6	509	9.2	1,003	8.9
安佐南区	841	14.7	885	16.0	1,726	15.3
安佐北区	922	16.1	901	16.3	1,823	16.2
佐伯区	769	13.5	839	15.1	1,608	14.3
計	5,714	100.0	5,539	100.0	11,253	100.0

c 要精検率 (単位：人)

受診者数	男性		受診者数	女性		受診者数	計	
	要精検者数			要精検者数			要精検者数	
		%			%			%
6	0	0.0	2	0	0.0	8	0	0.0
0	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0
6	0	0.0	21	0	0.0	27	0	0.0
2,038	55	2.7	2,645	48	1.8	4,683	103	2.2
2,975	84	2.8	3,381	106	3.1	6,356	190	3.0
689	36	5.2	458	26	5.7	1,147	62	5.4
5,714	175	3.1	6,508	180	2.8	12,222	355	2.9

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の実施

下記の調査研究を行い、その成果は、「原子爆弾後障害研究会」をはじめ関係各学会等に 39 題を発表したほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙に発表した。

- ア 「被爆者がん検診の意義に関する研究」(継続)
- イ 「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」(継続)
- ウ 「被爆者の糖代謝に関する研究」(継続)
- エ 「肺がんに関する研究」(継続)
- オ 「加齢に関する研究」(継続)

(2) 被爆者健康診断資料の収集整理と活用

被爆者健康診断の受診者に関する資料（カルテ、心電図所見等）を分類整理・収納し、X線画像および心電図は電子化保存した。健康管理・増進センターでは、必要に応じてこれらの資料を被爆者の健康管理・健康指導に活用している。

また、健康診断に関する資料を引き続き電算処理し、基礎資料としての管理体制を整えている。

(3) 文献の収集

原爆関係図書「ヒロシマ・ナガサキ 二重被爆」ほか 8 篇を収集した。

(4) 第 50 回原子爆弾後障害研究会の開催

第 50 回原子爆弾後障害研究会を、6 月 7 日(日)、広島国際会議場において開催した。今回は第 50 回を記念し、(財)放射線影響研究所・広島大学原爆放射線医科学研究所・長崎原子爆弾後障害研究会との共催とし、広島市・長崎市・放射線被曝者医療国際協力推進協議会の後援を得て開催した。研究会では、特別講演 3 題、シンポジウム 2 題のほか、一般演題 33 題が発表された。本会関係者は、シンポジウム 1 題、一般演題 2 題を発表した。

[シンポジウム]

- ◇ 「広島原爆障害対策協議会と原爆後障害研究」 佐々木英夫

[一般演題]

- ◇ 「被爆者健診における前立腺特異抗原 (PSA) 値と F/T 比の検討」 石田 啓 ほか
- ◇ 「原爆被曝と甲状腺機能低下の関連性」 臺 直美 ほか

(5) 検診結果の統計処理

本会の実施する被爆者健康診断によって得られた被爆者の健康状態に関する各種の情報はコンピュータにより統計処理を行うとともに、データは磁気ディスク等に記録し保存している。平成 21 年度に実施した主な事項は次のとおりである。

- ア 本会の実施した被爆者健康診断受診者の受診状況・疾病状況及び高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査等に関する平成 21 年度の年間統計
- イ 被爆者糖尿病追跡調査のための電算統計処理

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談

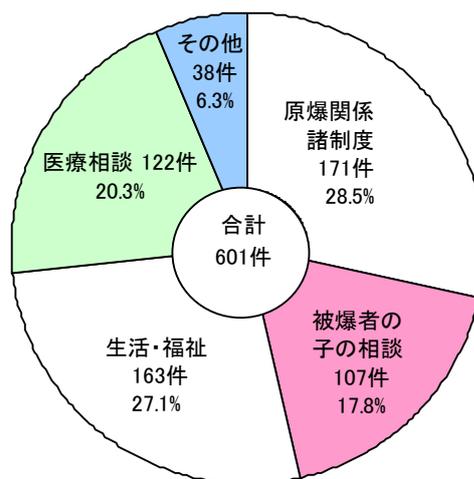
昭和 36 年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和 42 年 7 月専任相談員を配置し、昭和 53 年 11 月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

開設以来の相談件数及び平成 21 年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

年度	件数(件)	年度	件数(件)
昭和 36	51	昭和 61	3,086
37	29	62	3,454
38	19	63	5,333
39	30	平成元	4,530
40	46	2	4,074
41	68	3	4,183
42	240	4	3,525
43	334	5	3,451
44	465	6	3,482
45	626	7	3,512
46	910	8	3,576
47	626	9	3,393
48	507	10	3,758
49	568	11	2,911
50	871	12	3,414
51	1,241	13	2,817
52	1,746	14	2,572
53	2,566	15	2,522
54	3,174	16	2,455
55	2,319	17	2,084
56	3,676	18	576
57	3,057	19	625
58	2,852	20	566
59	2,660	21	601
60	3,283		

平成 21 年度の被爆者相談の状況



※平成 18 年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

(2) 被爆者の援護措置

本会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

- ア 被爆者援護金： 被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額 10,000 円を支給する。
- イ 温泉療養交通費補助金： 原爆被爆者有福温泉療養研究所で 6 泊 7 日以上療養した者に、交通費の一部として 1 回 1,000 円を支給する。
- ウ 被爆身障者等見舞金： 夏季と年末の年 2 回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。
- エ 福祉用具貸与・購入費補助： 住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。

オ その他の補助： 以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

平成 21 年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

平成 21 年度援護費の支給内容

種 別	人 員 (人)	支 給 額 (円)
温泉療養交通費補助金	326	326,000
被爆身体障害者等見舞金	16	150,000
福祉用具貸与・購入費補助	164	1,651,000
合 計	506	2,127,000

(3) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

昭和 42 年 6 月、厚生省のあっせんにより日本自転車振興会の公益事業補助金の交付を受け、広島市、島根県、江津市などの援助を受けて、原爆被爆者有福温泉療養研究所(有福温泉荘)を開設した。

現在は、原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会(会長：江津市長)に運営を委託し、必要な助成を行って被爆者の福祉増進を図っている。

なお、泉質及び適応症は別表のとおりで、入湯療養の効果をおさめている。

ア 沿革

- 昭和 42 年 6 月 日本自転車振興会等の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を開設
- 昭和 44 年 2 月 日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、暖房設備工事及び倉庫建設工事完成
- 昭和 45 年 5 月 2 階増改築工事完成
- 昭和 49 年 7 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
- 昭和 53 年 7 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
- 昭和 56 年 10 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋根防水改修その他工事完成
- 昭和 60 年 8 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、車庫上屋根新設工事等完成
- 昭和 62 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
- 平成 4 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、内部・外部改修工事等施設整備工事完成
- 平成 9 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、浴室改修その他工事完成
- 平成 10 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋上陸屋根防水工事その他の工事完成
- 平成 14 年 7 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
- 平成 19 年 7 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、外壁・厨房等設備改修工事完成

イ 運 営 原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会 (江津市)

ウ 施設

- ・所在地 島根県江津市有福温泉町 762 番地 4 (〒695-0156, 電話・FAX 0855-56-2148)
- ・敷地 3,348.73 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建 延 1,488.52 m²
宿泊室(20室)、浴室(2)、食堂、娯楽室、事務室、従業員室
- ・事業費 298,518 千円

(財源内容)	日本自転車振興会補助金	34,580 千円
	車両競技公益資金記念財団補助金	84,780 千円
	広島県補助金	50,942 千円
	広島市補助金	60,669 千円
	島根県補助金	2,000 千円
	江津市補助金	4,287 千円
	原対協負担金	59,150 千円
	その他寄付金	2,110 千円
- ・定員 72名

エ 申込手続き等

- ・広島原爆障害対策協議会または有福温泉荘で、利用する4か月前から受付
- ・利用料金 宿泊(1泊3食付) 被爆者 5,300円 付添 6,500円
- ・利用者には、バス運賃(広島電鉄)の割引証(2割引)を交付する。

オ 泉質及び適応症

泉質	単純温泉	カルシウム (mg/kg)	10.78	硫酸 (mg/kg)	18.59
泉温	46.5度	ナトリウム (")	80.99	ヒドロ炭酸 (")	86.32
PH	8.8	カリウム (")	3.48	炭酸 (")	13.96
蒸発残留物	265.4	マグネシウム (")	1.77	メタ珪酸 (")	67.07
ラドン	0.14	クロール (")	66.04		

適応症	慢性関節リウマチ、筋肉リウマチ、神経痛、神経炎、骨・関節運動器障害、外傷性障害の治療、疲労回復
-----	-------------------------------------------------

力 年度別利用状況

年 度	男	女	計
昭和 43	1,025	1,477	2,502
44	1,299	1,665	2,964
45	1,195	1,867	3,062
46	1,176	1,884	3,060
47	1,304	2,069	3,373
48	1,361	2,036	3,397
49	1,206	2,100	3,306
50	1,332	2,258	3,590
51	1,214	2,280	3,494
52	1,400	2,536	3,936
53	1,284	2,372	3,656
54	1,376	2,436	3,812
55	1,473	2,623	4,096
56	1,483	2,839	4,322
57	1,513	2,890	4,403
58	1,403	2,679	4,082
59	1,351	2,867	4,218
60	1,316	2,919	4,235
61	1,294	2,997	4,291
62	1,166	2,761	3,927
63	1,263	2,828	4,091
平成元	1,244	2,997	4,241
2	1,253	2,992	4,245
3	1,170	3,074	4,244
4	1,080	2,808	3,888
5	1,173	3,179	4,352
6	1,232	3,211	4,443
7	1,230	3,281	4,511
8	1,216	3,318	4,534
9	990	2,989	3,979
10	1,231	3,239	4,470
11	1,262	3,264	4,526
12	1,263	3,230	4,493
13	1,101	2,585	3,686
14	1,157	2,640	3,797
15	1,253	2,516	3,769
16	1,339	2,488	3,827
17	1,328	2,390	3,718
18	1,130	2,061	3,191
19	1,025	2,033	3,058
20	1,019	1,891	2,910
21	1,041	1,722	2,763

キ 平成 21 年度の利用状況

性別

性 別	実人員		延人員	
	人員 (人)	比率 (%)	人員 (人)	比率 (%)
男	1,041	37.7	2,978	30.9
女	1,722	62.3	6,646	69.1
計	2,763	100.0	9,624	100.0

年齢別

年 齢 (歳)	実人員		延人員	
	人員 (人)	比率 (%)	人員 (人)	比率 (%)
～59	223	8.1	406	4.2
60～69	721	26.1	1,807	18.8
70～	1,819	65.8	7,411	77.0
計	2,763	100.0	9,624	100.0

地域別

地 域	実 人 員		延 人 員	
	人員 (人)	比率 (%)	人員 (人)	比率 (%)
広 島 市	1,907	69.0	6,815	70.8
広 島 県	710	25.7	2,471	25.7
その他(県外)	146	5.3	338	3.5
計	2,763	100.0	9,624	100.0

4 健康増進事業

(1) 事業の内容

生活習慣病などを予防し、積極的に健康づくりを推進するため、平成元年9月から広島市の委託を受け、また、平成18年度からは広島市から指定管理者の指定を受け健康増進事業を行っている。本事業では、市民が日常生活において自主的に健康の保持・増進ができるように医学検査・体力測定・運動負荷テストおよび栄養調査によって健康度を測定し、一人ひとりに適した運動、栄養、休養の処方を行っている。

さらに、広島市各区のスポーツセンターと共同で継続的な運動の実施のための方策(登録制)も行っており、効果を挙げている。平成6年度からは、広島県体育協会との連携により国体強化選手のメディカルチェックも実施している。また、平成7年度からは、健康増進コースを受診後3～6か月後に、運動、栄養の実践の効果判定を行いたい人を対象に、新たに「効果測定メニュー」を加えるなど、一層の充実を図っている。さらに「効果測定メニュー」を利用した健康教室を年数回にわたり開催して受診者数の増加に努めている。

(2) 検査項目

項目	内 容		基本 コース	精 密 コース	簡易メニュー		効果測定 メニュー
					A	B	
問 診	生活状況・健康状況・食生活状況		○	○	○	○	○
尿 検 査	糖・タンパク・ウロビリノーゲン・潜血		○	○		○	
血液一般検査	貧血などの検査	白血球・赤血球・ヘモグロビン・ ヘマトクリット	○	○			
血液生化学	肝機能・高脂血症・尿酸及び糖尿病などの検査	GOT・GPT	○	○			
		総コレステロール・血糖					○
		HDL コレステロール・γ-GTP・ ALP・CPK・総タンパク・尿酸 中性脂肪		○			○
胸部X線	直接撮影			○			
肺機能検査	肺活量・努力性肺活量・1秒率		○	○	○	○	
眼底撮影	動脈硬化性・高血圧性変化			○			
血圧測定	安静時		○	○	○	○	○
身体計測	身長・体重・皮下脂肪厚・シルエッター撮影		○	○	○	○	○
心電図検査	安静時		○	○	○	○	
体力測定	握力・脚伸展パワー・全身反応時間など		○	○	○	○	○*
運動負荷テスト	トレッドミルまたはエルゴメーター		○	○	○	○	
指 導	栄養指導・運動指導・総合指導		○	○	○	○	○

簡易メニューA：特定健康診査・人間ドック等の受診結果持参者向けメニュー

(希望受診日の概ね3か月以内に、特定健康診査や人間ドックで血液検査などの医学検査を受け、その結果に応じて一部検査を省略したメニュー)

簡易メニューB：広島市各区のスポーツセンターのトレーニング室利用(登録制)向けメニュー

* 一部省略可能

(3) 実施状況

(単位：件)

年度	基本コース			精密コース			簡易コース			効果測定コース			合計
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
平成元	30	33	63	42	31	73							136
2	37	75	112	231	132	363	199	186	385				860
3	55	63	118	674	324	998	403	298	701				1,817
4	116	84	200	1,041	610	1,651	560	438	998				2,849
5	134	107	241	1,128	697	1,825	484	451	935				3,001
6	167	91	258	1,224	775	1,999	658	410	1,068				3,325
7	151	71	222	1,039	599	1,638	663	461	1,124	6	41	47	3,031
8	157	112	269	1,038	522	1,560	634	461	1,095	14	38	52	2,976
9	124	94	218	1,083	558	1,641	555	438	993	17	85	102	2,954
10	112	87	199	1,054	589	1,643	532	400	932	13	64	77	2,851
11	102	85	187	1,261	970	2,231	488	354	842	0	0	0	3,260
12	83	81	164	1,072	560	1,632	525	362	887	6	9	15	2,698
13	59	50	109	1,001	564	1,565	500	332	832	57	77	134	2,640
14	51	51	102	1,134	574	1,708	471	379	850	32	93	125	2,785
15	77	49	126	1,060	631	1,691	505	327	832	18	17	35	2,684
16	62	32	94	1,168	600	1,768	508	340	848	8	25	33	2,743
17	42	30	72	1,153	572	1,725	489	312	801	6	25	31	2,629
18	56	32	88	1,140	573	1,713	467	265	732	43	48	91	2,624
19	52	44	96	1,138	607	1,745	467	290	757	11	15	26	2,624
20	57	59	116	1,149	722	1,871	518	364	882	105	71	176	3,045
21	33	62	95	1,064	726	1,790	513	338	851	5	1	6	2,742

(4) 平成 21 年度実施状況

平成 21 年度における健康増進事業のコース別・月別の利用者数は表 1 のとおりである。総受診者数は 2,742 名で、基本コース受診者は 95 名（男性 33 名、女性 62 名）、精密コース受診者は 1,790 名（男性 1,064 名、女性 726 名）、簡易メニュー受診者は 851 名（男性 513 名、女性 338 名）、効果測定メニュー受診者は 6 名（男性 5 名、女性 1 名）であった。

表 1 健康増進事業

(単位：人、日)

区 分 (実施日数)	4月 (16)	5月 (16)	6月 (22)	7月 (22)	8月 (21)	9月 (19)	10月 (21)	11月 (18)	12月 (18)	1月 (18)	2月 (19)	3月 (21)	計 (231)	月平均 人 数		
受診者数	44	86	209	293	257	293	361	300	288	248	246	117	2,742	228.5		
基本 コース	受診者数	1	11	6	10	2	13	10	12	8	4	12	6	95	7.9	
	性 別	男性	1	7	3	6	0	6	0	3	1	0	5	1	33	2.8
		女性	0	4	3	4	2	7	10	9	7	4	7	5	62	5.2
精密 コース	受診者数	25	43	143	210	177	194	263	199	176	151	161	48	1,790	149.2	
	性 別	男性	18	36	111	148	110	108	139	114	98	70	90	22	1,064	88.7
		女性	7	7	32	62	67	86	124	85	78	81	71	26	726	60.5
簡易 コース	受診者数	17	31	60	73	77	86	88	89	103	92	72	63	851	70.9	
	性 別	男性	12	22	42	57	61	45	54	46	58	52	23	41	513	42.8
		女性	5	9	18	16	16	41	34	43	45	40	49	22	338	28.2
効果測定 コース	受診者数	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	6	0.5	
	性 別	男性	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	5	0.4	
		女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1	

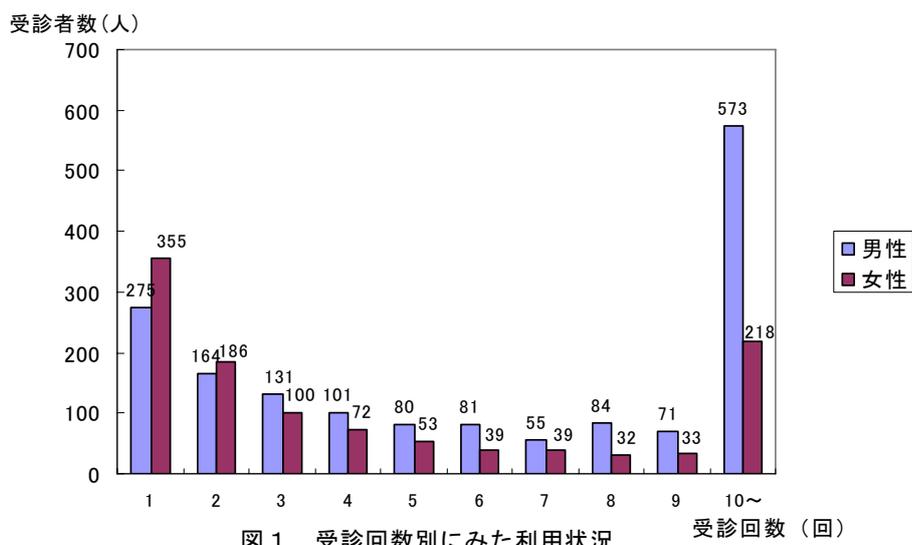
受診者数の年次別推移は表 2 のごとくで、男女ともここ 10 年間にはほぼ横ばいの状態が続いている。また、受診者数の推移を年齢別にみると、男女とも 10 代から 80 代までの幅広い年齢層に利用されており、最近では 60 代以上の受診者が増加してきている。

表2 平成12年度から平成21年度の年度別・年齢階級別受診状況

(単位：人)

性別	年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	年齢階級										
男性	10代	24	48	24	42	53	62	57	49	49	58
	20代	142	115	123	109	82	65	60	69	87	49
	30代	353	340	357	367	376	370	359	333	311	233
	40代	629	552	586	546	588	553	530	517	576	483
	50代	392	395	417	425	481	481	517	538	583	549
	60代	103	125	134	122	117	116	123	119	165	176
	70代～	43	42	47	49	49	43	60	43	58	67
	計	1,686	1,617	1,688	1,660	1,746	1,690	1,706	1,668	1,829	1,615
女性	10代	30	29	15	41	27	42	19	18	35	28
	20代	111	98	123	96	69	64	55	53	58	32
	30代	216	195	234	197	188	173	162	185	211	191
	40代	369	329	325	323	311	284	301	310	344	338
	50代	222	269	284	286	311	290	304	312	361	371
	60代	49	85	87	67	77	81	60	69	142	126
	70代～	15	18	29	14	14	5	17	9	65	41
	計	1,012	1,023	1,097	1,024	997	939	918	956	1,216	1,127

平成21年度の受診者の内訳を受診回数別にみると、図1の如くで、初回受診者は630名（男性275名、女性355名）であり、全体の23.0%であった。2回以上の受診者は2,112名（男性1,340名、女性772名）で全体の77.0%を占めており、なかでも10回以上の受診者は791名（男性573名、女性218名）と長期にわたる継続受診者が全体の28.8%と多数みられた。



今後、受診者の増加を図るためには、継続受診者を確保するための効果的な支援を充実させるとともに、新規の受診者の増加が必要である。そこで、平成21年度は、市の公共施設150か所にパンフレットを配布したり、「市民と市政」を利用した広報活動を積極的に行った。「市民と市政」では幅広い年齢層に関心を持っていただけるよう工夫を凝らしたテーマで10月・1月・3月号に掲載した。参加者の方々には、「日頃、疑問に思っていたことや、間違っていて理解していたことを丁寧に説明してもらい大変よかった。日々の生活に活かしたい。」など、適切なサポートをすることができた。今後も生活習慣病や介護予防など市民のニーズにあった関心度の高いテーマを取り上げていくことで、健康増進事業をより身近に感じることができるような啓発活動をさらに積極的に行っていきたい。また、最近では健康増進コースを受診した方からの勧めで受診される方が増加してきており、その期待に応えられるよう、栄養・運動指導のスキルアップを目指していきたい。

5 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子供から高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

(1) 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子供から大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

ア 年間利用者数 51,221 人

平成 21 年度健康科学館利用状況

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観覧者数	2,733	4,092	4,346	7,537	8,029	4,278	3,497	3,340	2,574	3,631	3,496	3,668	51,221
大人 (人)	1,489	2,071	2,409	3,820	3,800	2,304	1,779	1,768	1,312	2,283	1,891	2,023	26,949
小人 (人)	326	739	442	1,299	1,857	661	800	661	584	393	313	301	8,376
幼児 (人)	918	1,282	1,495	2,418	2,372	1,313	918	911	678	955	1,292	1,344	15,896
トータルヘルシアター (人)	205	632	477	1,347	1,341	322	407	510	351	404	371	355	6,722
上映回数 (回)	100	97	98	103	98	95	91	137	172	183	152	98	1,424
研修会議室 (人)	478	1,297	1,224	4,387	5,719	1,443	1,070	943	756	1,273	856	647	20,093
視察・見学 (回)	5	7	13	4	0	7	5	11	10	6	0	1	69
主催事業 (回)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11	8	7	27
共催事業 (回)	1	10	7	4	0	7	12	11	4	5	1	3	65
ビデオ上映 (回)	2	6	4	15	26	5	5	3	5	7	4	3	85
健康ライブラリー (人)	100	91	112	170	322	97	89	117	152	108	69	102	1,529
つどいの広場 (人)	1,516	1,490	2,125	2,585	2,245	1,719	1,400	1,068	1,182	1,502	1,700	1,843	20,375
大人 (人)	745	748	1,043	1,257	1,067	872	700	525	599	743	839	906	10,044
幼児 (人)	771	742	1,082	1,328	1,178	847	700	543	583	759	861	937	10,331

※ 利用者数はそれぞれの機能ごとの利用者であり、館全体の利用者である観覧者数とは一致しない。

イ 企画展の開催 年 4 回

企画展の観覧者数

名 称	期 間	日 数	観覧者数 (人)			
			大人	小人	幼児	合計
笑顔でおいしく元気展	平成21年3月1日～7月12日	※1 86	4,060	1,592	1,221	6,873
探検！発見！からだ工場	7月18日～10月25日	83	6,581	4,434	2,736	13,751
五感をくすぐる癒しの世界	10月31日～平成22年2月21日	87	4,432	1,860	1,029	7,321
足にまつわる健康展 今・昔	2月27日～7月11日	※2 27	1,218	345	431	1,994
合 計		283	16,291	8,231	5,417	29,939

つどいの広場のみ及びライブラリーのみ入館者は除く。

※1 日数及び観覧者数は、平成21年4月1日から7月12日までの集計

※2 日数及び観覧者数は、平成22年2月27日から3月31日までの集計

ウ パネル展 年 13 回

(2) 健康ライブラリーの運営

健康に関する最新の健康情報を提供した。

(3) 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会・イベント (年 76 回) 参加者 2,768 人
- ・パパとママの育児教室 (年 34 回) 参加者 2,081 人
- ・他の関係機関との共催による研修会 (年 32 回) 参加者 2,048 人

(4) ボランティア（ヘルスサポーター）の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成事業 (年 8 回)
- ・ボランティアの活動事業 (年 511 回)

(5) 広報活動（TV・ラジオ取材等） 開催数 56 回

(6) 展示物・資料等貸出 15 回

(7) ファミリー・サポート・センター事業

保護者の急な用事や残業の際の預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター（地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織）を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

ア 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 2,127 人（提供会員：494 人 依頼会員：1,499 人 両方会員：134 人）

【平成 22 年 3 月 31 日現在】

イ 援助活動の調整

マッチング件数 1,014 件

ウ 提供会員登録講習会（援助活動に必要な知識の普及）（年 2 回 6 月、9 月）

エ 会員同士の交流（全体交流会 1 回）

（各区交流会 2 回）

【中区・東区・南区・安芸区】【西区・佐伯区・安佐南区・安佐北区】

オ 会員講習会 8 回

カ 機関誌の発行 1 回

(8) つどいの広場事業

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

ア 常設のつどいの場の提供

イ 子育てに関する相談援助

ウ 子育て関連情報の提供

エ 子育て等に関する講習会の開催 年 24 回

利用者数 20,375 人（大人 10,044 人 幼児 10,331 人）

6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと平成3年4月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、医師等の受入（平成21年度は、7回にわたり19名の医師等の医療研修）を積極的に行った。

(2) 来日原爆被曝者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被曝者への援助を引き続き行った。

平成20年度実績 (単位：人)

国 別	健康診断 受診者数	相談者数（延べ）
米 国	39	0
韓 国	0	0
その他	0	0
計	39	0

7 平成21年研究業績

(1) 学会発表（「第50回原子爆弾後障害研究会」除く）

第73回日本循環器学会総会・学術集会（3月20日、大阪市）

- ・佐々木英夫 「Preventive medicine/Epidemiology/Education」セッション座長
- ・井上典子、佐々木英夫：Hyperinsulinemia accerelates arteriosclerosis

第66回日本放射線技術学会 総会学術大会（4月16日～19日、横浜市）

- ・横町和志、池田亜衣、内藤久美子、井上典子、佐々木英夫：Dose 低減を目的とした低電圧心電図同期コンベンショナルスキャンの臨床応用への基礎的検討

第52回日本糖尿病学会年次学術集会（5月21～24日、大阪市）

- ・吉良さくらこ、福島徳子、入江三枝子、前田亮、佐々木英夫、伊藤千賀子：生活習慣介入による糖尿病一次予防 —非肥満境界型群に対する介入効果—
- ・入江三枝子、福島徳子、吉良さくらこ、村上文代、伊藤千賀子、佐々木英夫：糖尿病予防に関する介入研究 —特定保健指導で成果を挙げるために—
- ・福島徳子、亀島佑佳、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、村上文代、伊藤千賀子、佐々木英夫：アルコール摂取量の減量別にみた諸種臨床検査成績の比較

World Alzheimer Disease Meeting（July 15, Vienna, Austria）

- ・Mimori Y, Yamada M and Sasaki H：Smoking Effects on Mortality and Dementia: Radiation Effects Research Foundation Adult Health Study

第64回日本体力医学会大会（9月18～20日、新潟市）

- ・入江三枝子、佐々木英夫：メタボリックシンドロームの予防に効果的な運動量

第37回日本磁気共鳴医学会総会（10月1日、横浜市）

- ・田村隆行、笛吹修治、村上茂、横町紀子、横町和志、面谷耕司、吉川健、内藤久美子、秋山實利：乳腺腫瘍に対するDWI-Biexponential 信号解析

Asian Pacific Meeting on Dementia（October 13, Seoul, Korea）

- ・Yamada M, Kasagi F and Sasaki H：Midlife Reaction Time as a Predictor of Mortality and Dementia: Radiation Effects Research Foundation Adult Health Study

第37回日本放射線技術学会秋季学術大会（10月22日～24日、岡山市）

- ・田村隆行、笛吹修治、村上茂、横町紀子、横町和志、面谷耕司、吉川健、内藤久美子、秋山實利：乳腺MRIルーチン伏側臥位撮影後、背臥位遅延造影相での腫瘍描出能の検討
- ・横町和志、池田亜衣、内藤久美子、井上典子、佐々木英夫：2189例の冠動脈CT検査による異なるBMI並びに異なる心臓撮影方法におけるDOSEと画質の解析

第19回日本乳癌検診学会総会（11月5～6日、札幌市）

- ・吉川健、村上茂、山本茂、田村隆行、池田亜衣、佐々木英夫：原爆被爆者乳がん検診の現状と課題

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第47回総会（11月6～7日、岡山市）

- ・入江三枝子、福島徳子、片山美和子、吉良さくらこ、佐々木英夫、村上文代、伊藤千賀子：初年度特定保健指導の成果と課題—運動指導の立場から—
- ・福島徳子、亀島佑佳、片山美和子、入江三枝子、吉良さくらこ、佐々木英夫、村上文代、伊藤千賀子：当センターで行った企業健診における特定保健指導の現状と成果

平成21年度 全国健康増進施設研究会（11月28日、京都市）

- ・入江三枝子、佐藤玲子、亀島佑佳、桑原友美、福島徳子、細木由美、片山美和子、吉良さくらこ、佐々木英夫：メタボリックシンドローム予防に効果的な運動量

Radiological Society of North America (北米放射線学会) (11月29日～12月4日、米国シカゴ)

- ・横町和志、池田亜衣、内藤久美子：Why Body Mass Index (BMI) is Useful to Reduce DOSE and to Keep Constant Image Quality on the Cardiac CT Coronary Angiography : Principle and Validation

(2) 講演会

広島県体育協会教育研修会 (2月3日、広島市)

- ・佐々木英夫：ドーピング検査の現状

県ジュニア合宿(中高校生)での講習会 (2月20日、広島市)

- ・福島徳子：ジュニアアスリートのための食トレーニング

ヘルスサポーター養成講座での講習会 (2月21日、広島市)

- ・入江三枝子：生活習慣病予防の基礎知識—運動—

第57回広島MR撮像研究会 基礎講座3 (3月27日、広島市)

- ・田村隆行：MR信号の取得

第10回広島Gyrometing (3月28日、広島市)

- ・田村隆行：INTERA Achiva R.2.6の使用経験

広島市健康づくりセンター健康講座 (5月15日、広島市)

- ・佐々木英夫：病気の予防：増えつつける心疾患

第58回広島MR撮像研究会 基礎講座4 (5月15日、広島市)

- ・田村隆行：MR信号について

広島大学大学院医歯薬学総合研究科・保健学研究科「予防医学・健康指導特論I」(5月20日、広島市)

- ・佐々木英夫：健診制度・個人情報保護

中国電力研修会 (5月19日、広島市)

- ・佐々木英夫：ドーピングコントロールの現状と注意点

第1回広島県西部地区胃研究会 (5月22日、広島市)

- ・田村隆行：胃に対する基礎知識
- ・品川祐樹：新・胃X線撮影法で抽出された早期胃癌

企業アスリートに対する講習会 (5月26日、広島市)

- ・福島徳子：アスリートのための食トレーニング

日本陸上競技連盟全国医務部長会議 (5月31日、東京)

- ・佐々木英夫：競技会の医事運営

第18回乳腺診断フォーラム広島 (6月6日、広島市)

- ・田村隆行：乳腺MRIの基礎

第10回広島MR合同勉強会 (6月13日、広島市)

- ・田村隆行：乳腺MRIの撮像法とその問題点

広島市スポーツ少年団指導者に対する講習会 (6月13日、広島市)

- ・福島徳子：元気なスポーツ少年団員の食事と栄養のとり方

第9回広島県放射線技師会 消化管撮影研究会 (7月4日 広島市)

- ・田村隆行：内視鏡治療可能な早期胃がん
- ・品川祐樹：動画で学ぶ、バリウムの流れ

平成21年度広島大学公開講座「健康と放射線」(7月9日、広島市)

- ・佐々木英夫：被爆者の健康管理

第21回広島糖尿病セミナー「糖尿病腎症 —最近の動向」(7月11日、広島市)

- ・吉良さくらこ：尿中 IV 型コラーゲンの基準値と臨床的意義
- 第 10 回日本放射線技術学会中国四国部会 夏季学術大会**（7 月 12 日、岡山市）
- ・田村隆行：拡散をコントロールしたファントムの開発と DWI 信号減衰
- からだリセット！スリム講座での講習会**（7 月 17 日、広島市）
- ・入江三枝子：脂肪燃焼でスタイルアップ！～生活の中で運動量を増やす工夫～
- 平成 21 年度広島市中学校教育研究会**（7 月 31 日、広島市）
- ・佐々木英夫：今日のスポーツ界におけるドーピングについて
- 第 2 回広島県西部地区胃研究会**（7 月 31 日、広島市）
- ・田村隆行：胃がん肉眼形態について
- ・品川祐樹：右回り 3 回転と左右交互変換の併用
- JICA「生活習慣病予防対策」研修コース**（8 月 31 日、広島市）
- ・佐々木英夫：生活習慣病の予防
- 第 59 回広島 MR 撮像研究会 基礎講座 5**（9 月 18 日、広島市）
- ・田村隆行：ラジオ波と RF コイル
- 生活習慣改善教室での講演会**（10 月 9 日、広島市）
- ・入江三枝子：Let's ウォーキング～いつでもどこでも楽しく歩こう～
- 糖尿病ウォークラリー**（10 月 18 日、広島市）
- ・入江三枝子：準備体操及びアイスブレイキング
- ・福島徳子：糖尿病患者のためのお弁当の解説
- 平成 21 年度山口県被爆者総合相談会**（11 月 6 日、宇部市）
- ・佐々木英夫：被爆者の健康管理について
- 広島経済同友会講演会**（11 月 17 日、広島市）
- ・佐々木英夫：これからの健康づくり：元気で長生きのすすめ
- 第 60 回広島 MR 撮像研究会 基礎講座 6**（11 月 20 日、広島市）
- ・田村隆行：信号発生部位の特定と傾斜磁場
- 第 5 回県北 CDEJ カンファレンスでの講演会**（11 月 24 日、三次市）
- ・入江三枝子：運動療法の実際
- 平成 21 年度健康ウォーキング推進者研修会**（12 月 3 日、広島市）
- ・佐々木英夫：冬のウォーキングを楽しむために

(3) 論文

- ・佐々木英夫：予防医療最前線：予防が大事．カレントひろしま 第 279 巻：34-35, 2009.
- ・佐々木英夫：メタボ？特定健診てなんだろう？ はやかわ 1 月号：14-15, 2009.
- ・Inoue Noriko, Maeda Ryo and Sasaki Hideo：Aortic Pulse Wave Velocity Predicts Cardiovascular Mortality in Middle-Aged and Elderly Japanese Men. *Circulation J* 73(3)：549-553, 2009.
- ・Inoue Noriko and Sasaki Hideo：Hyperinsulinemia accelerates Arteriosclerosis. *Circulation J* 73 suppl：611-612, 2009.
- ・佐々木英夫：第 11 回運動疫学研究会学術集会開催報告．*Research in Exercise Epidemiology* 11：28-29, 2009.
- ・Kasagi Fumiyoshi, Yamada Michiko, Sasaki Hideo and Fujita Shoichiro：Biologic Score and Mortality Based on a 30-Year Mortality Follow-UP：Radiation Research Foundation Adult Health Study. *J Gerontol* 64A(8)：865-870, 2009.
- ・佐々木英夫：第 50 回原爆後障害研究会報告．広島市医師会だより 7 月号：22-23, 2009.

- ・佐々木英夫：スポーツ医・科学委員会の活動。(財)広島県体育協会編。平成20年度広島県スポーツ年鑑。2009.
- ・佐々木英夫：ドーピングコントロール便利帳Ⅱ。(財)広島県体育協会編。2009.
- ・佐々木英夫：新型インフルエンザにどう対処するか。陸協ひろしまニュース 第66号：4, 2009.
- ・佐々木英夫：被爆地ヒロシマをいかに未来に生かすか：広島原爆障害対策協議会の課題と役割。広島県内科会誌10巻：67-68, 2009.
- ・佐々木英夫：体力測定値と100m走力の関連。広島陸上競技研究Vol.12：9-12, 2009.
- ・佐々木英夫：編集後記。広島陸上競技研究Vol.12：13, 2009.
- ・Yamada Michiko, Kasagi Fumiyoshi and Sasaki Hideo：Incidence of dementia among atomic-bomb survivors -Radiation Effects Research Foundation Adult Health Study. J Neurol Science 281：11-14, 2009.
- ・Yamada Michiko, Mimori Yasuyo and Sasaki Hideo：Incidence and risks of dementia in Japanese women：Radiation Effects Research Foundation Adult Health Study. J Neurol Science 283：57-61, 2009.
- ・佐々木英夫、山澤文裕編：クリーンアスリートをめざして2009。(財)日本陸上競技連盟。2009.
- ・入江三枝子、佐々木英夫：効果的な運動方法への模索 至適な高齢者の身体活動への提案。体力科学 Vol.58 No.1：37, 2009.
- ・入江三枝子、佐々木英夫：メタボリックシンドロームの予防に効果的な運動量。体力科学 Vol.58 No.6：835, 2009.
- ・小泉大亮、山田ともみ、佐々木英夫、入江三枝子、竹島伸生：多周波数インピーダンス法による体組成測定の妥当性—高齢者と若年者について—。体力科学 Vol.58 No.6：922, 2009.
- ・小泉大亮、佐々木英夫、入江三枝子、彦坂愛子、楠正暢、竹島伸生：加速度計付歩数計を用いた身体活動量向上への取り組み—活動量と強度調節の有用性。鈴木謙三記念財団法人医科学応用研究財団研究報告。Vol.27：81-85, 2009.
- ・入江三枝子、福島徳子、吉良さくらこ、佐々木英夫：健康増進施設用プログラム。運動疫学研究 Vol.11：42, 2009.
- ・福島徳子：スポーツと食事 あなたはメタボ??メタボリックシンドローム予防のための食事のポイント。ウイング Vol.55：12, 2009.
- ・福島徳子：スポーツと食事 食事バランスガイドで毎日の食事をチェック!!。ウイング Vol.56：12, 2009.
- ・福島徳子：スポーツと食事 水分補給のテクニック。ウイング Vol.57：12, 2009.
- ・福島徳子：スポーツと食事 疲労回復のための食事テクニック!!。ウイング Vol.58：10, 2009.

Ⅶ 資 料

1 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	配分金額
昭和 34 35	原爆被爆者福祉センター本館建設	55,844,000	52,300,000
38	健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置	27,379,000	16,850,000
41	原爆被爆者福祉センター増築	92,100,000	41,000,000
43	テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置	30,490,000	20,000,000
45	原爆被爆者福祉センター増改築	56,548,000	25,000,000
47	ハイゼルマーク X、コールターカウンター設置	59,000,000	29,000,000
49	コールターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置	39,828,000	24,000,000
51	胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールターカウンター設置	43,900,000	23,000,000
53	X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備	37,600,000	23,000,000
55	自動血球分類装置(diff-3)	50,000,000	28,000,000
57	コールターカウンター搭載健診車(2号車)購入	42,800,000	28,000,000
59	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入	42,920,000	30,000,000
61	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備	76,000,000	40,000,000
63	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備	156,000,000	70,000,000
平成 2	超電導 MRI 装置設置	83,430,000	50,000,000
4	コールターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新)	78,000,000	46,000,000
6	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置	134,000,000	67,000,000
8	CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ	92,000,000	36,000,000
10	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム	73,500,000	25,725,000
12	MRI 装置(更新)	144,375,000	10,000,000
14	自動血球計算装置(更新)	21,315,000	7,460,000
16	全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新)	33,180,000	10,000,000
18	全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新)	27,615,000	2,060,000
20	超音波診断装置 (更新)	12,915,000	4,916,000
	合 計	1,510,739,000	709,311,000

2 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備	46,885,000	29,150,000
42	原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備	5,565,000	2,550,000
43	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事	15,401,000	5,430,000
平成元	原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置	74,469,000	37,234,500
3	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置	29,272,000	14,636,000
5	原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置	65,000,000	32,500,000
7	原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置	36,000,000	14,420,000
9	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置	24,675,000	6,825,000
11	原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム)	32,025,000	14,700,000
13	原爆症診療機器の整備 超音波診断装置	16,695,000	8,242,000
合 計		345,987,000	165,687,500

3 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 53	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事	22,550,000	7,560,000
62	原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等	21,390,000	14,260,000
平成 4	原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等	45,629,000	29,520,000
9	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事	36,236,500	15,300,000
10	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事	20,454,000	10,220,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	7,920,000
合 計		162,114,500	84,780,000

4 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,906,964	800,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	800,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	800,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	800,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	800,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	800,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	800,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,300,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,500,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,500,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,500,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,500,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,500,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,500,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,500,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,500,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,500,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,500,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,500,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,500,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,500,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,500,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,500,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,500,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,500,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,366,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,146,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,123,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	694,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	951,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,148,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	1,033,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	411,917,521	101,303,000

5 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,903,964	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事	46,885,000	9,727,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	1,000,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	1,000,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	1,000,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	1,000,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	1,000,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	1,000,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,500,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,700,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,700,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,700,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,700,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,700,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,700,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,700,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,700,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,700,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,700,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,700,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,700,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,700,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,700,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,700,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,700,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,700,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,530,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,530,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	1,329,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	1,300,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,300,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	715,520
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
合 計		458,799,521	119,673,520

6 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位：円)

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
昭和 38	30,000	180,638	210,638
39	37,298	158,881	196,179
40	-	485,027	485,027
41	30,000	385,603	415,603
42	-	503,278	503,278
43	97,075	354,883	451,958
44	72,916	556,012	628,928
45	276,389	220,175	496,564
46	176,664	435,108	611,772
47	475,358	533,674	1,009,032
48	630,433	358,972	989,405
49	876,166	432,000	1,308,166
50	1,008,761	450,982	1,459,743
51	1,091,674	290,000	1,381,674
52	1,212,000	235,500	1,447,500
53	1,224,093	943,000	2,167,093
54	1,464,294	150,000	1,614,294
55	1,444,053	380,000	1,824,053
56	1,316,185	85,000	1,401,185
57	1,514,511	580,070	2,094,581
58	1,583,894	308,000	1,891,894
59	1,532,635	342,000	1,874,635
60	1,505,193	103,000	1,608,193
61	1,468,864	1,710,500	3,179,364
62	1,496,799	88,400	1,585,199
63	1,514,795	63,755	1,578,550
平成元	1,574,770	305,000	1,879,770
2	1,501,600	415,000	1,916,600
3	1,586,500	5,000	1,591,500
4	1,617,000	0	1,617,000
5	1,487,000	0	1,487,000
6	1,425,000	510,000	1,935,000
7	1,480,000	0	1,480,000
8	1,525,000	470,000	1,995,000
9	1,400,000	1,800,000	3,200,000
10	1,435,000	0	1,435,000
11	1,345,000	250,000	1,595,000
12	1,300,000	0	1,300,000
13	1,270,000	0	1,270,000
14	1,160,000	50,000	1,210,000
15	1,110,000	5,025,000	6,135,000
16	970,000	0	970,000
17	980,000	301,033	1,281,033
18	930,000	0	930,000
19	870,000	0	870,000
20	850,000	0	850,000
21	830,000	0	830,000
合計	48,726,920	19,465,491	68,192,411

7 全国から寄せられた寄付金

(資料6再掲、敬称略)

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
昭和 29	239,486 円	39 件	埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK 一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術入展, 岸英一, 毛利典欐, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団○支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ピカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔
30	419,804 円	38 件	池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 義○豊子外 24 名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組 34 名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪T生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生プラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市I子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 美○ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会
31	3,230,819 円	98 件	原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレー ヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊○○隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長○重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原○男, 医師会卒業生無名氏, 横浜市新生活運動婦人○○会一同, 福家俊明, 野溝○人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, ○○○○○○○○, 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・○○○・国定典明, 神阪○子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨木県取手第○○○学校生徒会長大久保征夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, ○○孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年D組ひらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎迫彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田○良正, 益村弥太郎, クロンドチーク
32	149,684 円	21 件	大森シゲ, 山田○○○○, 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞○○委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博○外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン
33	293,316 円	50 件	日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊○○○学校生徒, ○○高校三年図書部・○○君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・○○トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田○小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共○○・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, 横山妙, 田口正治, ○○無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会, 東町連合子供クラブ一同,

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
34	575,892 円	32 件	川崎市東芝○附工, 段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三, 野口あき, 東京電気大学○○学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋士・東京忍岡高校生・○川○○, 屋代小・中学校・戸倉中学校, 匿名, 広島県○○○・吉本勝・浜田カヨ子, 山田千恵子, 高橋昭博, 杉渕徳治, 山田千恵子, 河野次郎・県教職組合・乃美小学校6年○組, ○尾富美子, 浜田加代子, 土肥邦雄, 三村典子, 松下和義丸本杏男, 山田千恵子, 日本むつみ会, 山田千恵子, 奈良県一○人, 山田千恵子, 吉岡隆夫, 神戸市親和高校グループ, 日本むつみ会老生, 山田千恵子, 金沢兼之助, 東京福祉協会理事小祝昌弘, 四人の女月光仮面, 一読者, 愛知トマトKK他7社, 日本むつみ会老生, (匿名), 大阪一女性, 匿名者, 田口正治, グレチエン・タットヒル, 古賀和紀, グレチエン・タットヒル, 金光教群馬県西部連合会, 藤村弘, 全日労組合広島地方会議組合員, 篠村つる子, 香川県千羽鶴運動実行委員会, イタリア生, (匿名), 浦辺和美外三名, 徳竹道生外一名
35	78,957 円	17 件	広島予研支所匿名, 広島予研支所匿名, アーサー・マリー・アイビンダー, 赤松鉄也, 赤松鉄也, 匿名, 篠村つる子, 金子健次郎, 大阪 K.E.氏, 匿名, 匿名, 山田千恵子, 山田千恵子, 森新一, 山田千恵子, 原水爆禁止大川市協議会長古賀清治, 広島県競輪選手会
36	1,935,402 円	30 件	紺野光吉, 紺野光吉, 日本原水爆被災者救援協会代表富井令子, 石田久子, 山田キク, 関つる, 山蔭貫之, 関つる, 紺野光吉, 日本電装労働組合, ルイス・カヴレル, 匿名, 匿名2名, 全大丸労働組合神戸支部, 全国財務労働組合, 紺野光吉, 原田東岷, 安佐郡長束地区婦人会長原田静枝, 寺本典夫, 佐藤富子, 土井憲策, 山崎君子, 愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同, 石川県立工業高等学校デザイン科有志, 紺野光吉, 原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング, 紺野光吉, 柿原幸二, 小崎芳子, 紺野光吉
37	140,129 円	19 件	紺野光吉・無名氏, 三次中学校, 三次町本通一子供会, 紺野光吉・匿名, 山田千恵子, 小川亀三, 日○一社員外三氏匿名, 紺野光吉・m.y., 清水芳郎, 駒込学園一同, 呉造船労組宮原地区家族会, 日本司法書士会連合会総会出席者, 東大教育学部高校一年A組, 板木節夫, 藤田正行, 河原卓一, 安永茂雄, 日下部春一, 岩滝宗雄
38	210,638 円	23 件	神戸市育英高等学校一年十組, 中村勝弥, 奥田光太郎, 空調タイムス社代表取締役杉本英太郎, 大歳盛明, 志村寛一, ノートルダム清心高等学校三年生一同, 山田千恵子, 山田千恵子, 徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫, 般若太郎外七口, 岡本稔雄・吉田町役場職員組合, 村上春雄, ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団, 日本高等学校教職員組合, 中川シゲノ, 山口親愛教会 S 氏, (匿名), 本間妙海, 匿名, 村上和輝, 日赤東京都支部寄託, 読売新聞社寄託
39	196,179 円	18 件	読売新聞社寄託2名, 日赤東京都支部寄託, 匿名, 山田千恵子, 中国新聞社会事業団寄託, 政治経済研究会代表番匠朝昭, 日本高等学校教職員組合代表磯本達則, 中国新聞社会事業団寄託, 土手和海外二名, 原水爆禁止門○市協議会会長東重太郎, 金沢なでしこ会三人, 金光教広島県連合会外二件, 岐阜県立中津高等学校職員二学年一同, 黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同, 福島県石川実務学園長外三ヶ所, 朝日新聞山口支局寄託, 石川県立金沢高等学校二四ホーム一同, 大○七一
40	485,027 円	23 件	神戸新聞厚生事業団寄託, 石川県金沢高等学校修学旅行団, パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻, 中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同, ○生製作所労組, 渋谷区代々木善明会教団, 全国自動車産業労働組合連合会東海支部, 山形県16歳学生, 中島マチ, 豊島区 S.K, こばやし, 塚本利光, 大豊○樹, 尾川昭外七ヶ所, 比和中学校福田部落会生徒, キリンビール労働組合広島工場支部長○○永○○, 松岡洋子・岡本・玉置せき, 東京電気大学高校普通科二年生一同, 日本大学豊山学園友輪会, 豊橋市時○○高校二年一組一同, 豊川地方労働組合, ○田照夫, 石本タケノ
41	415,603 円	18 件	喫茶ガーネット、小池静子外二名, 県内に住む一女性, 三宅千代子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則, 善明会教団東京支部, セント・ジェルジ博士, 右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名, 東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒○○○キリスト○○, 大阪市旅行クラブ「浪花会」, 国際協力及軍備に関するオーストラリアニュージーランド委員会, 吉田達雄, 安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同, 土井憲作, 南千田ヘルスセンター, 山本雅子, 矢沢一民, 旧普通科神○高等学校一年三組,
42	503,278 円	21 件	川上ナルエ, 堤健一郎, 徳原スミ子, 飯田商店外二者, 杉山博康, 小松修, 神戸外大二部原水禁実行委員会一同, 片山茂樹, 法眼○外五件, 三次市栗原町婦人会外二件, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円, 読売新聞社寄託, 金洞海, 山形 KO 東京電機大学高校工業科二年生一同・定時制四年 C 組一同, 奈良県青龍寺小西妙淳, 全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合, フランス人シャンボイゼ,

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
43	451,958 円	20 件	新田修三, 関川守彦, 下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校 日本高等学校教職員組合, 長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武, 日本火薬福山工場ダンス同好会一同, 本田英郎, 日本高等学校教職員組合, 大口あさを, 金井政吉, 姫路市匿名, 舟入本町商店街, 広島市の者, 藤井音次郎, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓, 沖一成, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合, 東海大学原子力教室, ピクターオート(株)広島営業所, 酒井幸四郎, 藤井音次郎, 藤井音次郎
44	628,928 円	23 件	香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 藤井音次郎, 水木ナツ, 藤井音次郎, 小島静江, 金井政吉, 入田律子, 舟入本通会, 一老人, 田中茂, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 桂雄一, 徳山市蟻の会代表水木敏郎, 鈴川寅二, ヒロスイ株式会社社員加賀愛万・下岡好一・西村浩, 鯉城クラブ, 藤井音次郎, 大園英彦, 藤井音次郎, 小野広秋
45	496,564 円	27 件	藤井音次郎, 友広和夫, 一匿名者, 一匿名者, 金井政吉, 匿名の一少女, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 藤井音次郎, 神戸市職青年部神戸市葎合区役所・神戸市生田区役所有志, 堀内登久子, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 匿名者, 湧井雅晴, 小西清, 高田和典, 法政大学女子高校1年F組, 岩室久一, 横光利之, 苫小牧西高等学校新聞局, 明大附属中野中学校2年生, 藤井音次郎, 一市民, 狩野重治, 藤井音次郎, 岡野チヨノ, 八木千代, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一
46	611,772 円	19 件	藤井音次郎, 藤井音次郎, 金井政吉, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 柴崎英治, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 三重県立紀南高等学校修学旅行団一同, 藤井音次郎, 今田稔穂, 広島木工製材機械協会, 森崎律子, 藤井音次郎, 広島市匿名氏, 安佐ボール社長武智義則, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 藤井音次郎
47	1,009,032 円	20 件	山口大学 YMCA 代表者山崎まり子, 藤井音次郎, 松川宣正, 松川宣正, 広島市 Y 子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店長小野敏次, 広島市無名氏, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 新谷五郎, 松坂次男, 藤井音次郎, 原田東岷, 飯田昭二, 藤井音次郎, エア・ポートレーン支配人登勝志, 広島市民無名氏, 福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴, 岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良, 藤井音次郎
48	989,405 円	13 件	広島木工製材機械協会会長金子堅一, 藤井音次郎, 大高美代, 岡儀造, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次, 原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平, 藤井音次郎他, 藤井音次郎, 岡正造, 藤井音次郎, 甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹, 藤井音次郎
49	1,308,166 円	11 件	渡辺ツルコ, 足門ミドリ, 日本高等学校教職員組合, 広島市内原爆被爆者, 原水爆禁止十日町市協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎, 奥野ワカヨ, 広島市原爆被爆者, 市山律子, 上山しのぶ
50	1,459,743 円	11 件	坂本悦治, 乙井ミツエ, 愛媛県立南宇和高校生徒会顧問武田裕典, 広島市民被爆無名者, 広島第一劇場代表取締役吉田尚行, 広島木工製材機械協会会長金子堅一, 西部浩子, 日本高等学校教職員組合, 関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫, 初倉利明, 西部浩子
51	1,381,674 円	4 件	広島鉄道管理局広島工場桂哲雄, 河野和夫, 日本高等学校教職員組合, 長崎正明
52	1,447,500 円	7 件	大山ミチ子, 松上年雄, 広島木工製材機械協会, 東京の一学生, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫, 清水由紀子, 高橋彰温
53	2,167,093 円	9 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作, 浜井澄人, 山口能弘, 荒木邦男, 山田春三, 府中農協病院植田繁男, 川村法人
54	1,614,294 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 東洋工業 K.K. 監査部主管初倉誠
55	1,824,053 円	4 件	寺岡聖, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 森崎利樹, 藤井幸子
56	1,401,185 円	4 件	高野慶子, 山口大学平和キャラバン隊, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 巖利文
57	2,094,581 円	5 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信, 山口大学ユネスコクラブ第12回平和キャラバン隊, 花田実男, 栃木県烏山女子高等学校三年一組一同, 大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会
58	1,891,894 円	6 件	大高美代, 京極春子, 山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫
59	1,874,635 円	9 件	全日本宗教用具組合連合会, 大高美代, 大熊開市, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫, 中野ツルエ, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市

年 度	合 計 金 額	件 数	寄 付 者 氏 名
60	1,608,193 円	12 件	大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市
61	3,179,364 円	11 件	大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦
62	1,585,199 円	5 件	財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者
63	1,578,550 円	6 件	森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者
平成元	1,879,770 円	5 件	藤原雄, 広島木工製材機械協会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正
2	1,916,600 円	5 件	柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合
3	1,591,500 円	2 件	大高美代, 日本高等学校教職員組合
4	1,617,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	1,487,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	1,935,000 円	4 件	日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝
7	1,480,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
8	1,995,000 円	6 件	日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子
9	3,200,000 円	5 件	日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子
10	1,435,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
11	1,595,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子
12	1,300,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
13	1,270,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
14	1,210,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会
15	6,135,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会
16	970,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
17	1,281,033 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会
18	930,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
19	870,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
20	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
21	830,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合

8 核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
45	毛糸編機 6 台、ラジオ 1 台	292,000
46	カラーテレビ 1 台、長イス 11 脚	237,000
47	フィルム保管庫 5 台	125,000
49	フィルム格納庫 9 台	251,000
50	スロンブエラストグラフ 1 台、毛糸編機 4 台	1,750,000
52	顕微鏡 1 台、毛糸編機 3 台	442,000
53	胃カメラ 1 台	1,210,000
54	気管支ファイバースコープ 1 台	1,300,000
55	眼底カメラ 1 式	1,385,000
56	ガストロファイバースコープ 1 台	1,500,000
57	ガストロファイバースコープ 1 台	1,313,500
58	大腸ファイバースコープ 1 台	1,411,000
59	気管支ファイバースコープ 1 台	1,115,000
60	オートプロジェクター 1 台、内視鏡格納棚 1 台、吸引器 1 台	915,000
61	ガストロファイバースコープ 1 台	1,300,000
62	顕微鏡 2 台	1,009,000
63	超音波診断装置備品	1,044,000
平成元	顕微鏡 1 台	1,510,000
3	全自動身長体重計	708,000
5	体内脂肪計一式、吸引器、検眼鏡 1 組、パルスオキシメーター 1 台	958,106
6	体内脂肪計一式、インターバル・パワートレーニング・マシン	826,825
7	造影剤遠隔注排装置一式	1,000,000
8	血圧監視装置、視力表照明装置	994,980
9	酸化電位水生成機	875,000
10	ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機	907,370
12	自動グルコース測定装置	1,500,000
14	上部消化管用スコープ	1,491,000
16	全自動グルコース測定装置	1,250,000
18	内視鏡洗浄器	1,249,500
20	超音波診断装置プローブ 1 台、ゼリーウォーマー 1 台	893,550
	合 計	30,763,831

※ ただし、平成 6 年度以降は、核兵器禁止平和建設国民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

9 日本労働組合総連合会広島県連合会

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
平成 10	気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台	2,477,916
13	自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本	1,839,915
15	下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台	3,200,400
	合 計	7,518,231

事業概要 平成 22 年（2010 年）

財団法人 広島原爆障害対策協議会
（略称：広島原対協）

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 8 番 6 号
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451(代表)
FAX 082-241-0414
URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>
